

平成 31 年度

事業報告及び附屬明細書



ひたすらなるつながり

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目 次

第2次経営計画に基づき実施する事業

【1の柱】だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり	1
【2の柱】だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる居場所づくり	5
【3の柱】「ひたすらなるつながり」を創造実践する「滋賀の福祉人」づくり	6
【4の柱】5つの力を磨き、「ひたすらなるつながり」を支える職員づくり	8
【5の柱】「ひたすらなるつながり」を実現するための活動資金づくり	8

平成31年度事業報告（部門別）

経営部門	
<総務課>	9
<資金貸付・債権管理課>	14
事業部門	
<地域福祉課、地域共働課>	22
<レイカディア振興課>	49
人材部門	
<介護・福祉人材センター>	58
<社会福祉研修センター>	71
福祉用具センター	85
運営適正化委員会	94

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告及び事業報告を補足する重要事項である附属明細書を「事業報告及び附属明細書」として一体的に作成しています。

※本報告書では、研修講師等の氏名は敬称を略させていただいております。

第2次経営計画に基づく平成31年度重点事業

【1の柱】だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり

1 「おめでとう」から「ありがとう」まで滋賀の縁の共感力と現場力の発信

(1) 縁特別会員制度の推進

滋賀の縁創造実践センターの実践を支える新たな会員制度である「縁特別会員」制度の周知及び会員加入促進のため、広報パンフレットの作成・配布、広報誌やホームページ等での広報、施設や事業所への訪問による入会呼びかけ、施設協議会等の会議等での説明等を行った。

＜縁特別会員数（令和2年3月31日現在）＞

	団体	社会福祉法人	企業	個人	賛助	合計
会員数	16	82	0	22	1	121

(2) 広報誌 季刊「ひたすらなるつながり」の発行

＜第2号＞

発行月 令和元年6月

部 数 4,000部

特 集 「児童虐待」子どもの命と笑顔を守る現場からのレポート

＜第3号＞

発行月 令和元年9月

部 数 4,000部

特 集 「健康の概念を問い合わせ直す」私たちはどのような健康をめざすのか

＜第4号＞

発行月 令和2年2月

部 数 4,000部

特 集 「災害と福祉」地域と施設と行政と一緒にマニュアルをたどってみた

2 生きづらさを抱えた人のつながりネットワークづくり

(1) ひきこもり者家族の県域ネットワークづくり

①ひきこもり電話相談の実施

ア. 緊急電話相談の実施

令和元年5月に起きた東京都練馬区と川崎市の事件報道により、ひきこもり者と家族のための緊急電話相談を実施した。

実施日 令和元年6月17日（月）～19日（水）

実施機関 （福）さわらび福祉会甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』、高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」、大津市社会福祉協議会、県社協

相談件数 55件

イ. 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』との共働で継続的な電話相談の実施

実施日時 令和元年10月より毎週木曜日12時～18時

相談件数 90件（累計）

②ひきこもり者の実態把握のための「ひきこもり等に関するアンケート調査」の実施

滋賀県民生委員児童委員協議会連合会と滋賀県市町社会福祉協議会会长会と共に実施した。

調査対象 県内の民生委員・児童委員3,238人

調査方法 令和7月から8月にかけてアンケート調査

回収結果(有効回収率) 2,840人(87.7%)

把握していたひきこもり者数 941人の民生委員児童委員が1,428人を把握

③被保護世帯におけるひきこもり者数の調査

県内の福祉事務所の協力を得て、被保護世帯におけるひきこもり者数を把握した。

実施時期 令和元年12月

調査結果 県内の被保護実人数10,978人のうち304人(2.8%)がひきこもり者(うち単身者159人)

④「ひきこもり支援ネットワーク化を目指して」の発行

アンケート調査の周知・広報と、ひきこもりについての理解促進、県内の支援機関の集約を目的に冊子を5,000部発行した。

⑤滋賀県域の支援者研修会の実施

県内のひきこもり支援の向上と支援者同士のつながりづくりとして、全国ひきこもり支援フォーラムに参加した。

開催日 令和元年8月26日(月)

会場 岡山県立大学 講堂

参加者 11市1町 41名

(2) 各圏域における相談支援の強化と支援者ネットワークの構築

①甲賀・湖南ひきこもり支援「奏一かなでー」

ひきこもりの人と家族に学ぶ地域づくりを目標に、さわらび福祉会が中核となり、民生委員児童委員協議会、市役所、市社協、保健所とさわらび福祉会(事務局)による「奏一かなでー」運営会議で方向性を共有しながら継続的に活動を実施した。

ア. 個別支援の実施

イ. 交流や「その人らしく」いられる場づくり

ウ. ネットワークづくり

・「奏一かなでー」運営会議(5回)

・アウトリーチ・奏サロン部会(4回)

・家族支援部会(4回)

・地域啓発・交流部会(4回)

エ. 啓発講演会等の開催(36回)

オ. 冊子の作成

これまで取り組んできた当事者支援、家族支援、地域啓発の実践を整理し、その成果をひきこもり支援に携わる専門職員の実践のヒントとするため活動集を作成した。また、市民向け、家族向けの啓発資材を作成した。

②高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」

高島市社会福祉協議会が中核となり、つながり応援センターよろず「つながり応援支援者ネットワーク会議」の中で、ひきこもり者とその家族を支援するために多職種の連携を深め、仕組みづくりを進めていくため、以下の活動を継続的に実施した。

ア. 個別支援の実施

イ. 交流や「その人らしく」いられる居場所づくり

ウ. ネットワークづくり

・つながり応援支援者ネットワーク会議(2回)

③長浜市におけるひきこもり支援のしくみづくり

昨年度の支援者交流会・学習会をふまえヒアリングを実施。

④大津圏域・湖南圏域におけるひきこもり支援のしくみづくり

社会福祉協議会を中心とした、支援者連絡会、ひきこもり支援を考える研修・学習会を開催し、情報交換、学びを通して、ひきこもり支援者同士の連携・協働の一歩となるつながりの構築を図った。

ア. 支援者連絡会（ネットワーク会議）の開催（3回）

イ. キックオフフォーラムの開催

地域の理解促進とひきこもり支援に関わる関係機関が連携・協働するきっかけとして、ひきこもり支援を考えるフォーラムを1回開催した。

⑤彦根市におけるひきこもり支援のしくみづくり

彦根市社会福祉協議会が中核となり、ひきこもり者とその家族を支援するために他職種の連携を深め、ネットワーク構築を進めていくため、会議開催や「ひきこもり支援を考えるフォーラム」の企画検討を行った。

3 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

(1) 子どもの笑顔スポンサー拡大活動

①広報啓発活動

ア. はぐプロ通信の発行

1回（4,000部）発行した。

イ. 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」ホームページ、Facebookページの運営

ウ. 啓発イベントへの参加

4回参加し、子ども食堂クイズラリー、フォトスポット、オリジナルTシャツ販売等を通じた広報啓発を行った。

②団体・個人のスポンサー登録の推進

スポンサー登録実績 268件（累計470件）

③はぐくみ基金への寄付の推進

スポンサーからの寄付実績 18,169,823円（物品等金額換算分を含む）

(2) 子ども食堂つながりネットワークSHIGAの活動推進

①子ども食堂フェスタの開催

開催日 令和元年8月18日（日）

会場 センター

参加者 550人

内容 カレーサミット、遊び・体験コーナー、縁日コーナー、ステージコーナー

②子ども食堂交流会の開催

1回開催し、17人が参加した。

③子ども食堂実践者研修会

「食物アレルギー～正しく知って子ども食堂ができる工夫をみんなで考えよう～」をテーマに2会場で開催し、37人が参加した。

④子ども食堂保険加入促進事業

参加者にとって安心・安全な場となるよう支援するため、44か所に保険料を助成した。

⑤子ども食堂推進委員会

2回開催した。

4 「3.11 えにしの日」と連携した災害時要配慮者支援ネットワークの強化

(1) 滋賀県災害ボランティアセンターの運営

①災害ボランティアセンター運営協議会の開催

ア. 運営協議会（担当者合同）

1回開催し、県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練等について協議するとともに、各団体の情報交換を行った。

イ. 担当者会議

2回開催し、県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練や令和元年台風第19号の被災地支援等について協議・情報交換を行った。

②機動運営訓練の実施

開催日 令和元年9月1日（日）

会 場 県危機管理センター

参加者 26人

内 容 非常時体制移行訓練、支援要請等に対する対応検討訓練、平常時体制移行訓練、訓練全体の振り返り

（2）ユーザーの立場からのマニュアル点検等、「えにしの日」防災活動の推進

①「えにしの日・えにし週間」の実施

実施団体 11団体 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10団体は実施延期・中止

重点取組 「当事者団体が実施する訓練・学習会」「子ども食堂での災害時のことを考える取組」

②県災害時要配慮者支援ネットワーク会議の開催

開催日 令和元年7月23日（火）

会 場 センター

内 容 構成団体等の取組報告

滋賀肢体障害者の会「みずのわ」片山 雅崇

「障害者・家族の防災意識に関する実態調査の報告について」

社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会 伊東 正樹

「福祉避難所開設・運営訓練について」

甲賀市国際交流協会 古谷 兼一

「甲賀市災害時多言語情報センターについて」

【2の柱】だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる居場所づくり

1 縁・共生の場づくり

- (1) 滋賀の縁認証・奨励事業
実施しなかった。
- (2) 縁認証団体等の訪問調査
9団体・施設を訪問し、事例集としてまとめた。
- (3) 地域食堂としての子ども食堂づくり
 - ①子ども食堂開設数
130箇所（継続115箇所、新規15箇所）
 - ②子ども食堂立ち上げ資金の助成
9箇所に助成（各10万円）
 - ③子ども食堂開設準備講座「知りたい！はじめたい！子ども食堂講座」の開催
子ども食堂開設を支援するための講座を3回開催した。
- (4) 高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所づくり
分野を超えた連携による居場所づくり 2か所（大津・湖南）

2 生きづらさを抱えた人と地域の架け橋づくり

- (1) 社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり
 - ①ハローわくわく仕事体験の実施
 - ア. 協力事業所の開拓
協力企業・事業所数：165企業・事業所（新規開拓20企業・事業所）
 - イ. 中高生の「ハローわくわく仕事体験」の実施
合計：52企業・67人体验
 - ウ. 小学生の「工場・職場体験」の実施
合計：13企業・24人体验
 - エ. 就労体験に向けたキャリアアップセミナーの開催
小中学生向け1回・32人参加、中高生向け1回・29人参加
 - オ. 就労体験に向けたプロフェッショナルセミナーの開催
小中学生向け1回・67人参加、中高生向け2回・61人参加
 - ②退所後の居場所づくりと自立支援のネットワークづくり
ほっとスポットの運営を支援するため、2箇所に経費助成を行った。
 - ③啓発活動
ハローわくわくニュースレターの発行（3回）
- (2) 社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進
 - ①フリースペースの運営支援
10箇所に運営経費を助成した。
 - ②フリースペース運営者・子ども支援関係機関の研修交流会の開催（2回）
 - (3) 働きづらさを抱える人の働く場づくり
 - ①県社協での傍楽体験の実施
11回開催し、82人が体験した。
 - ②他法人との共働による傍楽体験事業の推進
2法人の取組に経費助成、運営支援を行った。
 - (4) 教育資金を利用している高校生等の集い場づくり
「学びの応援相談会」として、進学にあたって不安を抱える低所得世帯の方を対象に、特に高校進学の学費に関する情報提供（高校助成金、奨学金等）と個別相談の場をモデル的に1回開催し、21人が参加した。

【3の柱】「ひたすらなるつながり」を創造実践する「滋賀の福祉人」づくり

1 縁アカデミーの創設と“えにし滋賀の福祉人”育成「縁塾」の開講

令和2年度からスタートする「縁アカデミー」の開設に向けて、プレ企画として「これから共生社会を創造する滋賀の福祉人セミナー」を開催した。

開催日 令和2年1月16日（木）・17日（金）

会場 滋賀県大津合同庁舎

参加者 39人

テーマ 新しい時代のソーシャルワーカー像をめざして

2 県・大津市・県社協の三者協定に基づく滋賀県社会福祉研修センターの開設

介護人材の質の向上や確保・定着を図るため、介護分野で働く滋賀の福祉人を育成する研修を広く周知し、受講を促進することを目的に平成30年12月、滋賀県、大津市および滋賀県社会福祉協議会の3者で締結した「滋賀の福祉人の育成に関する協定」に基づき、これからの共生社会を担う地域福祉人材の研修拠点として平成31年4月、「滋賀県社会福祉研修センター」を開設し、各種研修を実施した。

「滋賀の福祉人」に込めた意味は、滋賀の福祉現場で働く人たちが持つてほしいアイデンティティとビジョンであり、支援者としての価値と倫理観を日々の福祉実践を通して具現化しようとする人、そして具現化した人を「滋賀の福祉人」と称することとした。

3 ふく・楽CAFEによる「滋賀の福祉人」確保・定着支援・ネットワークづくり

(1) 「滋賀の福祉人」の確保

①介護・福祉職場の職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽CAFE」の開催

学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの魅力を実感し、介護・福祉職場への理解を深め、進路選択の参考、働く意欲の高揚を図ることを目的に「ふく・楽CAFE」を開催した。

	開催回数	参加者数
高校	6	98
大学等	9	162
地域	4	30
合計	19	290

②福祉職場見学ツアーの開催

学生を対象に、見学施設先の若手職員がナビゲーターとなって、福祉の職場で「はたらく」ことのやりがいや魅力を伝え、関心・共感の広がりや深化を図り、福祉職場への就職につなげることを目的に、甲賀地域をモデル地域として初めて開催した。

開催日 令和元年8月7日(水)

参加者 15人

見学先 (社福) 瑠璃光会「かがやき」

(社福) 近江和順会「特別養護老人ホームヴィラ十二坊」

「小規模特別養護老人ホーム百伝の杜」

(社福) 椎の木会「落穂寮」

③カイゴとフクシ就職フェアの開催

介護・福祉職場と求職者とのつながりの場として「カイゴとフクシ就職フェア」を開催した。

開催数 7回

出展法人 延べ 179 法人

来場者 延べ 488 人 (学生 140 人・社会人 348 人)

採用者 59 人 (学生 25 人・社会人 34 人)

④介護に関する入門的研修の開催

介護の基本的な知識・技術を学ぶ機会として「介護に関する入門的研修」(21 時間)を初めて開催した。

開催数 3回

参加者 79 人

⑤無料職業紹介事業の実施

センター区分	新規求人件数 (年累計)	新規求職者数 (年累計)	有効求人件数 (年平均)	有効求職者数 (年平均)	有効求人倍率 (年平均)	紹介・応募数	紹介・応募のうち採用数	就職フェア等を通じた採用数	採用数計
南部	3,388	993	850	298	2.85	84	48	68	116
湖北	976	327	289	95	3.03	29	19	21	40
合計	4,364	1,320	1,139	393	2.90	113	67	89	156
H30	3,506	1,149	904	329	2.75	93	38	50	88

(2) 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

①実行委員会方式による合同入職式の開催

開催日 令和元年 5月 20 日 (月)

会 場 琵琶湖ホテル

参加者 62人

②フォローアップ研修・交流会の開催

新入職員が合同入職式後も介護業界同期として継続的につながり、切磋琢磨できるよう、

フォローアップ研修・交流会を南部及び湖北で各 2 回 (半年後、1 年後) 開催した。

参加者 延べ 92 人 (南部会場: 延べ 65 人・湖北会場: 延べ 27 人)

③メンター育成研修及び支援員派遣事業の実施

基礎コース (25 人・19 事業所参加) 及び定着支援コース (15 人・13 事業所参加) の研修を実施し、定着支援コースでは支援員による巡回支援相談を年 2 回実施した。

4 福祉用具 (介護ロボットを含む) を活用したケアの推進事業

施設・事業所等を対象に、「介護の負担軽減とケアの質の向上」をテーマに福祉用具セミナー・展示体験会を開催した。

開催日 令和元年 11 月 7 日 (木)

会 場 センター

参加者 361 人

5 レイカディア大学の充実と生涯現役レイカディア人材の活動の場づくり

(1) リカレントコースの創設

卒業生の学び直しニーズに対応し、卒業生を対象とした卒業学科以外の学科への入学を可能とするリカレントコースを創設した。

入学者数 41期生: 12人、42期生: 18人 計 30 人

(2) レイカディア大学あり方検討会の開催

社会や人の価値観が大きく変化する中、レイカディア大学の今後のあり方について多角的に検討するため「レイカディア大学あり方検討会」を設置し、集中的な議論を経て、提言書を取りまとめた。

開催日 令和元年12月26日（木）・令和2年2月27日（木）

会 場 センター等

委 員 6名

提 言 5つの視点（いつでも学べる、楽しく学べる、ともに学べる、気軽に学べる、三
方よしを学べる）から、16項目（入学資格・履修期間、カリキュラム・授業運営、
開かれた大学等）の提言

（3）滋賀県レイカディア大学サポートの会との協働

レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイ
カディア大学サポートの会と協働し、より良い大学運営を推進した。

具体的には学生募集・大学祭の支援、学生対象初心者パソコン講座の実施、レイカディア
大学ホームページの運用管理、レイカディアだより、サポートの会通信の発行と配布、選択
講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポー
トを実施した。

6 第38回滋賀県社会福祉学会

開催日 令和2年2月21日（金）

会 場 センター

参 加 者 300人

内 容 ・自由研究発表（発表題数：35題）
・シンポジウム

「地域共生社会に向けて福祉従事者の役割を問う～滋賀県障害者差別のない共
生社会づくり条例制定から約1年を経て～」

・奨励賞の授与

【4の柱】5つの力を磨き、「ひたすらなるつながり」を支える職員づくり

1 共感力・発信力・現場力・共働力・つなぐ力～5つの力を磨く県社協職員育成計画の 策定と研修実施

定款第1条の「ひたすらなるつながり」の理念のもと、不断の地域福祉実践を行うための職
員像を明らかにし、各種研修、働きやすい職場づくりや人事評価などの人材育成の具体的な取
組の方向を示すものとして「人材育成基本方針」を策定した。

【5の柱】「ひたすらなるつながり」を実現するための活動資金づくり

1 はぐくみ基金の広報およびスポンサーの拡大、基金の増強

1の柱 3（1）と同じ

2 縁特別会員の広報および会員の拡大、基金の増強

1の柱 1（1）と同じ

3 職員のコスト意識徹底による事務経費の節減

経費節減により、縁基金へ2000万円、はぐくみ基金へ1000万円を繰り出した。

【経営部門】

<総務課>

1 理事会、監事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

<第1回>

開催日 令和元年5月31日（金）

会場 センター

- 議題
- (1) 平成30年度 事業報告（案）について
 - (2) 平成30年度 一般会計決算（案）について
 - (3) 平成30年度 生活福祉資金会計決算（案）について
 - (4) 35期役員候補者の選定について
 - (5) 定時評議員会の招集について

<第2回>

開催日 令和元年6月18日（火）

会場 センター

- 議題
- (1) 会長、筆頭副会長及び副会長ならびに常務理事の選定について
 - (2) 評議員選任・解任委員の選任について

<第3回>

開催日 令和元年11月19日（火）

会場 センター

- 報告
- (1) 平成31年度 上半期事業の執行状況について
 - (2) 平成31年度 上半期の資金収支状況について
 - (3) 会長、筆頭副会長、常務理事の職務執行状況について
 - (4) 会長が専決した事項について

<第4回>

開催日 令和2年3月10日（火）

会場 センター

- 議題
- (1) 滋賀県社会福祉協議会人材育成基本方針の策定について
 - (2) 滋賀県社会福祉協議会諸規程の改正について
 - (3) 令和2年度 事業計画（案）について
 - (4) 令和2年度 一般会計収支予算（案）について
 - (5) 令和2年度 生活福祉資金会計収支予算（案）について
 - (6) 令和2年度 資産運用計画（案）について
 - (7) 平成31年度 一般会計第一次収支補正予算（案）について
 - (8) 平成31年度 生活福祉資金会計第一次収支補正予算（案）について

<第5回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和2年3月18日（水）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
- (1) 理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する理事候補者の選任について

<第6回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和2年3月23日（月）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
- (1) 筆頭副会長の選定について

(2) 監事會

<第1回>

開催日 令和元年5月17日（金）

会 場 センター

- 議 題 (1) 事業報告等（理事の業務執行状況、法人の業務執行状況）の監査
(2) 計算関係書類及び財産目録の監査

<第2回>

開催日 令和元年11月8日（金）

会 場 センター

- 議 題 (1) 平成31年度 上半期事業の執行状況について
(2) 平成31年度 上半期の資金収支状況について

(3) 評議員会

<第1回>

開催日 令和元年6月18日（火）

会 場 センター

- 議 題 (1) 平成30年度 事業報告について
(2) 平成30年度 一般会計決算について
(3) 平成30年度 生活福祉資金会計決算について
(4) 第35期役員の選任について

<第2回> 決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和2年3月24日（火）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 令和2年度 事業計画（案）について
 - (2) 令和2年度 一般会計収支予算（案）について
 - (3) 令和2年度 生活福祉資金会計収支予算（案）について
 - (4) 平成31年度 一般会計第一次収支補正予算（案）について
 - (5) 平成31年度 生活福祉資金会計第一次収支補正予算（案）について

<第3回> 決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和2年3月19日（木）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の選任について

(4) 評議員選任・解任委員会

<第1回> 決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和元年6月7日（金）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 第34期評議員の補充選任について

2 広報活動

(1) ホームページを活用した情報の発信

本会事業に関する最新のお知らせ、縁特別会員募集や助成金情報をはじめ、本会の法人理念、経営計画、財務情報等を広く情報発信した。

- ・アクセス数：48,848件（2019.4.1～2020.3.31）
- ・ページビュー数：287,037件（2019.4.1～2020.3.31）

3 社会福祉法人・施設との協働

(1) 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による予算要望活動の実施

市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、令和2年度に向けた社会福祉関係予算要望及び提案を協働で行った。

要望先	実施日	場所
自由民主党滋賀県議会議員団	令和元年6月7日(金)	滋賀県庁2階 議員室
滋賀県(健康医療福祉部長)	令和元年8月28日(水)	滋賀県庁北新館会議室
チームしが 県議団	令和元年10月16日(水)	滋賀県庁2階 第5委員会室

(2) 社会福祉施設等関係団体との協働

「滋賀県社会福祉法人経営者協議会」及び「滋賀県児童成人福祉施設協議会」の事務局として各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援した。

(3) 助成等の実施

①滋賀県民間社会福祉施設整備運営資金の運営

＜審査会（委員会）＞

開催日 令和2年3月16日(月)

会 場 センター

貸付数 1件（合計10,000,000円）

②民間福祉団体等が行う地域福祉活動振興基金（内藤基金）の助成

内藤基金による助成事業のあり方の見直しのため、助成を休止した。

4 滋賀県社会福祉協議会会长表彰 表彰式及び交流会の開催

(1) 表彰式

開催日 令和元年11月15日(金)

会 場 ホテルニューオウミ

＜被表彰者＞

- ・民生委員児童委員…158件
- ・社会福祉施設、社会福祉事業、老人保健施設を経営する法人の役員等…5件
- ・社会福祉施設、社会福祉事業職員、介護老人保健施設の現業職員…78件
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の役員等…2件
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の職員…14件
- ・社会福祉活動が特に優秀な社会福祉協議会…1件
- ・ボランティア（個人）…10件
- ・ボランティアグループ…12件
- ・社会貢献活動・ボランティア活動功績企業団体…2件
- ・福祉活動推進校…1件

＜感謝＞

- ・寄付27件 法人2件 個人2件 合計31件

(2) 交流会

開催日 令和元年11月15日(金)

会 場 ホテルニューオウミ

内 容 昼食

落語 笑福亭學光「笑いで福祉のまちづくり」

なお、全国社会福祉協議会会长表彰には下記のとおり推薦を行った。

＜本会から推薦を行い受賞された内訳＞

民生委員児童委員功労者5人、社会福祉施設功労者3人、社協・団体功労者2人、

永年勤続功労者10人、社会福祉協議会優良活動1社協

5 長寿社会福祉センターの管理運営

当センターをだれもが利用しやすい施設となるよう適切な管理に努めた。また、設置者である滋賀県とともに施設設備の経年使用に伴う劣化や老朽化に対処した。

(1) 特定施設の利用実績

下表のとおり約84,300人の方の施設利用があった。

<特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
件数(件)	141	157	238	238	192	70	140
人数(名)	25,544	3,922	6,945	7,040	5,767	1,612	3,131
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
件数(件)	217	258	226	192	206	2,275	
人数(名)	3,538	15,799	3,309	3,503	4,208	84,318	

(2) 特定施設の稼働実績

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響もあり対前年度比で0.5ポイント稼働率が減少したものの、施設の有効活用の目標61.1%を3.3ポイント上回る64.4%となった。

<特定施設の本年度稼働率>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
稼働率	47.8%	54.0%	81.5%	81.5%	66.0%	24.1%	48.1%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	74.3%	84.9%	75.3%	64.6%	69.4%	64.4%	

(3) 貸室ポータルサイトの運営

貸室利用希望の方に向けて、貸室の概要や予約空き状況など利用いただくために必要となる情報等を、いつでも手軽かつ簡単に閲覧いただけけるよう、令和2年3月にポータルサイトをリニューアルし、利便性の向上を図った。

(4) センター施設設備の保全と維持管理

センターが適切に機能するよう、適正な保全と維持管理に努めた。

- ①建築保全業務の一部委託実施
- ②清掃業務の委託実施
- ③一般廃棄物および産業廃棄物の適法で適切な処分の実施
- ④敷地内除草作業
- ⑤本館棟非常灯バッテリー交換
- ⑥照明器具（蛍光灯・安定器）交換修理
- ⑦本館棟正面玄関東側自動扉錠前交換
- ⑧福祉用具センター棟空調設備（GHP）改修工事
- ⑨センター内水道子メーター更新
- ⑩休養室系統配水管詰まり。高压洗浄実施
- ⑪敷地内グラウンド不陸補正 など

(5) 消防訓練の実施

緊急事態発生時の在館者等の安全確保、財産の保全と被害軽減のため、消防訓練を実施した。

実施日：令和2年3月25日（水）

6 「人材育成基本指針」の策定

職員一人ひとりが、定款第1条に規定する「ひたすらなるつながり」の理念のもと、不斷の地域福祉を実践する資質・能力を備え、使命感を持って職務を遂行していくことが必要であるため、系統的な研修の充実と日常業務におけるOJTの積み重ねにより、法人理念を実践し、職員個々が滋賀の福祉人として評価され、滋賀の福祉に貢献する職員の育成を目標に、令和2年3月「人材育成基本方針」を策定した。

(1) 基本的視点

法人理念、経営の原則等を職務遂行の道標とし、人間の尊厳を基本とする支援の価値を磨いていくこと。

(2) 不断の地域福祉を実践する資質・職務遂行能力の視点

- ①職員誰もが求められる能力を「基礎力」と定義
- ②所属する部署固有に求められる能力を「専門力」と定義
- ③リーダー的立場の者に求められる能力を「マネジメント力」と定義
- ④定款第4条（経営の原則）に定める5つの力（発信力、共感力、共働力、つなぐ力、現場力）を「人間力」と定義

(3) 情報伝達と意思疎通の円滑化の視点

経営計画・事業計画の遂行に関する共通理解、取り組みへの対応

(4) 責任と役割の明確化と共有の視点

職員相互の役割を理解し、信頼関係に基づくチーム体制とサポート体制

(5) 職員のモチベーションの活性化と成長を支援する視点

- ①日常の業務を通じて行う職場内教育（OJT）
- ②職場等を離れて研修を受講する職場外教育（Off-JT）
- ③計画的な人事異動や配置換えによる人材育成（ジョブローテーション）
- ④自主的に研鑽する自己啓発

7 縁特別会員の広報および会員の拡大、基金の増強

滋賀の縁創造実践センターの実践を支える新たな会員制度である「縁特別会員」制度の周知及び会員加入促進のため、広報パンフレットの作成・配布、広報誌やホームページ等での広報、施設や事業所への訪問による入会呼びかけ、施設協議会等の会議等での説明等を行った。

(1) 縁特別会員数

	団体	社会福祉法人	企業	個人	賛助	合計
会員数	16	82	0	22	1	121

8 事務経費の節減による活動資金づくり

経費節減により、縁基金へ2,000万円、はぐくみ基金へ1,000万円を繰り出した。

<資金貸付・債権管理課>

1 生活福祉資金貸付事業の実施

市町社協、民生委員児童委員、市町行政、生活困窮者自立支援法による相談支援関係団体等との連携を図り、貸付を通じた支援を行った。

(1) 生活福祉資金等の貸付による支援の実施

- ①滋賀県貸付審査等運営委員会の開催（年間12回）
- ②生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の周知、制度利用の促進
 - ・生活福祉資金啓発パンフレットの配布
 - ・新任民生委員児童委員への制度説明
- ③生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の貸付
 - ・総合支援資金、福祉資金（福祉費、緊急小口資金）、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付

別表1 生活福祉資金等貸付決定状況

(2) 生活福祉資金等の償還促進を通じた支援の実施

①生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の債権管理の実施

別表2・3「生活福祉資金等 貸付中件数・金額」

別表4「生活福祉資金等 貸付支出に対する償還の割合」

②長期滞納者の督促等による債権管理の強化

- ・借受世帯の状況把握と対応（住所・氏名等の変更、債務整理等）
- ・長期滞納者への督促

令和元年5月：2,349通 令和元年11月：2,377通

③借受世帯の状況把握及び個別相談支援

- ・借受世帯への個別対応・支援を行うため、市町社協と連携し、面談や電話相談等を通して、借受世帯の状況を把握し個別の対応や支援を行った。

④行方不明者の居住地調査の実施

対象	新住所判明	異動なし	死亡	行方不明
422人	357人	38人	9人	18人
100%	85%	9%	2%	4%

(3) 社会的孤立・生活困窮から住民を守るための支援をすすめる専門的人材の育成および関係機関・

団体との連携

①生活福祉資金実務研修会の開催

開催日 令和元年6月4日（火）

会場 センター

参加者 22人

- 内 容
- ・生活福祉資金の貸付事業による支援の流れとポイント
 - ・生活福祉資金の制度概要と留意事項
 - ・生活福祉資金の動向について
 - ・相談対応の実技
 - ・生活福祉資金の償還について

②生活福祉資金貸付事業担当者研修会の開催（生活困窮者自立支援事業研修会との合同実施）

ア. 生活困窮者自立支援事業 家計改善支援研修会

開催日 令和元年12月25日(水)

会場 センター

参加者 20人(行政10人・社協10人)

内容 「家計改善支援の基本的な考え方と相談の効果」

〈説明〉

(1) 家計改善支援の基本的な考え方と相談の効果

(2) 家計表作成のポイント

(講師) グリーンコープ生活協同組合連合会 行岡みち子

〈事例検討〉

(1) 事例1~3 グループ検討・発表

(事例提供者) 東近江市社会福祉協議会 主事 水谷 友彦

イ. 生活福祉資金担当者研修会・担当者会議

開催日 令和2年1月22日(水)

会場 センター

参加者 17人

内容 (1)「相談業務に役立つ雇用保険講座～雇用保険制度の基礎知識～」

(講師) ハローワーク草津 雇用保険課 西川課長

(2) 生活福祉資金担当者会議

・各市町社協独自実施の貸付事業について(情報交換)

・債権の欠損処理について

・居住地調査について

(説明員) 滋賀県社会福祉協議会 生活福祉資金 担当職員

③関係機関・団体との連携

- ・県域の生活困窮者自立支援調整会議において、個別ケースの支援調整等を行った。
- ・全社協・生活福祉資金貸付事業運営委員会への参画
- ・近畿ブロック代表：本会事務局長

(4) 学びの応援相談会の開催

進学にあたって不安を抱える低所得世帯の方を対象に、特に高校進学の学費に関する情報提供と個別相談の場をモデル的に開催した。

開催日 令和元年11月23日(土)

会場 ひこね織ばれす

参加者 21人

内容 ①情報提供(高校助成金、奨学金についての制度説明)

・県奨学資金等について(県教育委員会より)

・学費シミュレーション

②個別相談

2 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立が図れることを目的に貸付事業を実施した。

(1) 児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の状況

生活支援費	3件 (5,940,000円)
家賃支援費	7件 (5,244,000円)
資格取得支援費	5件 (1,012,970円)
合計	15件 (12,196,970円)

(2) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の広報

児童養護施設や自立支援ホーム等に在籍する子どもたち及び職員に対し制度の周知・説明を行った。

- ①児童養護施設等・里親等支援者向け説明会の実施（1回）
- ②そらまめガイド・ほっとスポット説明会（児童向け説明会）の実施（9回）

3 保育士修学資金等貸付事業の実施

滋賀県内において、保育士の充足に資することを目的に、将来保育士として児童の保護等の業務に従事しようとする者に修学資金、潜在保育士には保育料の一部貸付・就職準備金貸付、保育施設等には保育補助者雇上費貸付を実施した。

(1) 保育士修学資金等貸付事業の状況

[保育士修学資金]

- ①就労による返還猶予者数 525人（平成25年度～）
- ②貸付継続者数 247人（平成25年度～）
- ③返還者数 166人（平成25年度～）

<平成31年度貸付>

- ①申請件数 88件
- ②決定件数 88件 (123,100,000円)
- ③契約件数 87件 (121,900,000円)

[養成校別 内訳]

	養成校名	人数(人)
2年課程	滋賀短期大学	20
	滋賀文教短期大学	4
	京都文教短期大学	9
	龍谷大学短期大学部	2
	平安女学院大学短期大学部	2
	大阪保育福祉専門学校	1
	華頂短期大学	9
	池坊短期大学	1
	びわこ学院大学短期大学	12
	大阪保健福祉専門学校	1
3年課程	大垣女子短期大学	2
4年課程	びわこ学院大学	2
	京都橘大学	4
	佛教大学	4
	花園大学	2

京都造形芸術大学	1
京都光華女子大学	2
名古屋芸術大学	1
滋賀大学	1
大谷大学	4
京都華頂大学	2
大阪青山大学	1
合 計	87

[保育料の一部]

<平成 31 年度貸付>

- ①申請件数 91 件
- ②決定件数 91 件 (計 22,378,770 円)

[就職準備金]

<平成 31 年度貸付>

- ①申請件数 44 件
- ②決定件数 44 件 (計 16,921,130 円)

[保育補助者の雇用]

<平成 31 年度貸付>

- ①申請件数 1 件
- ②決定件数 1 件 (計 3,425,976 円)

[利用料の一部]

<平成 31 年度貸付>

- ①申請件数 3 件
- ②決定件数 3 件 (計 370,400 円)

(2) 保育士修学資金等貸付事業の広報

将来保育士を目指す学生や、潜在保育士に対し制度の周知・説明を行った。

- ①県内高等学校 (65 校) への募集要項案内
- ②県内保育所等 (435 施設) への潜在保育士向けチラシ配布
- ③滋賀の保育所・認定こども園等就職フェアへの参加
- ④保育マッチングフェア 2020 in 湖南地域ブースへの出展
- ⑤ホームページによる制度広報

別表1

生活福祉資金等貸付決定状況

(単位:円)

	平成31(令和01)年度					
	借入申込		貸付決定		決定率	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援資金	5	1,629,000	5	1,629,000	100.00%	100.00%
生活支援資金	4	1,557,000	4	1,557,000	100.00%	100.00%
住宅入居費	0	0	0	0	—	—
一時生活再建費	1	72,000	1	72,000	100.00%	100.00%
福祉資金	80	38,772,310	79	33,911,330	98.75%	87.46%
生業	0	0	0	0	—	—
技能習得	6	9,289,745	5	6,025,745	83.33%	64.86%
住宅増改築	4	6,350,000	4	6,151,000	100.00%	96.87%
障害者等福祉用具購入	0	0	0	0	—	—
障害者自動車購入	4	8,137,000	4	8,137,000	100.00%	100.00%
中國残留邦人等国民年金追納	0	0	0	0	—	—
療養	10	6,535,800	10	5,259,000	100.00%	80.46%
介護・障害サービス	1	150,000	1	150,000	100.00%	100.00%
災害	2	2,300,000	2	2,300,000	100.00%	100.00%
冠婚葬祭	2	432,000	2	432,000	100.00%	100.00%
転宅、給排水	7	1,942,795	7	1,823,615	100.00%	93.87%
支度	0	0	0	0	—	—
その他	44	3,634,970	44	3,632,970	100.00%	99.94%
生活復興支援資金	0	0	0	0	—	—
緊急小口資金	92	7,912,000	91	7,887,000	98.91%	99.68%
緊急小口資金(災害特例)						
教育支援資金	254	241,764,417	250	234,677,737	98.43%	97.07%
教育支援費	122	191,167,662	119	185,226,662	97.54%	96.89%
就学支度費	126	45,496,872	125	44,351,192	99.21%	97.48%
授業料滞納特例	3	1,557,883	3	1,557,883	100.00%	100.00%
教育拡充(教育支援費)	2	3,330,000	2	3,330,000	100.00%	100.00%
教育拡充(就学支度費)	1	212,000	1	212,000	100.00%	100.00%
合計	431	290,077,727	425	278,105,067	98.61%	95.87%
不動産担保型生活資金	1	5,957,000	1	5,957,000	100.00%	100.00%
一般向け	0	0	0	0	—	—
要保護世帯向け	1	5,957,000	1	5,957,000	100.00%	100.00%
合計	432	296,034,727	426	284,062,067		

※ 不動産担保型生活資金の金額は、不動産評価に対する貸付限度額

臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	—	—
-----------	---	---	---	---	---	---

別表2
生活福祉資金等貸付中件数・金額

	令和2年3月31日現在		平成31年3月31日現在	
資金種類	貸付中件数(件)	貸付中金額(円)	貸付中件数(件)	貸付中金額(円)
総合支援資金	1,655	1,168,978,847	1,673	1,203,333,029
福祉資金	488	234,990,390	463	237,772,907
緊急小口資金	977	71,272,109	955	69,807,550
生活復興支援資金	9	3,515,546	9	3,751,716
教育支援資金	2,395	1,569,454,208	2,213	1,432,823,227
更生資金	50	33,009,803	52	34,943,042
障害者更生資金	10	22,874,712	12	23,169,902
生活資金	12	4,123,847	12	4,133,847
住宅資金	26	21,856,689	29	22,849,809
療養・介護等資金	39	18,815,592	39	18,912,832
災害援護資金	1	1,392,900	1	1,392,900
離職者支援資金	108	137,910,060	109	141,055,780
小計	5,770	3,288,194,703	5,567	3,193,946,541
不動産担保型生活資金	4	44,406,082	5	51,736,082
要保護不動産担保型生活資金	15	51,547,900	14	44,413,900
小計	19	95,953,982	19	96,149,982
生活福祉資金合計	5,789	3,384,148,685	5,586	3,290,096,523

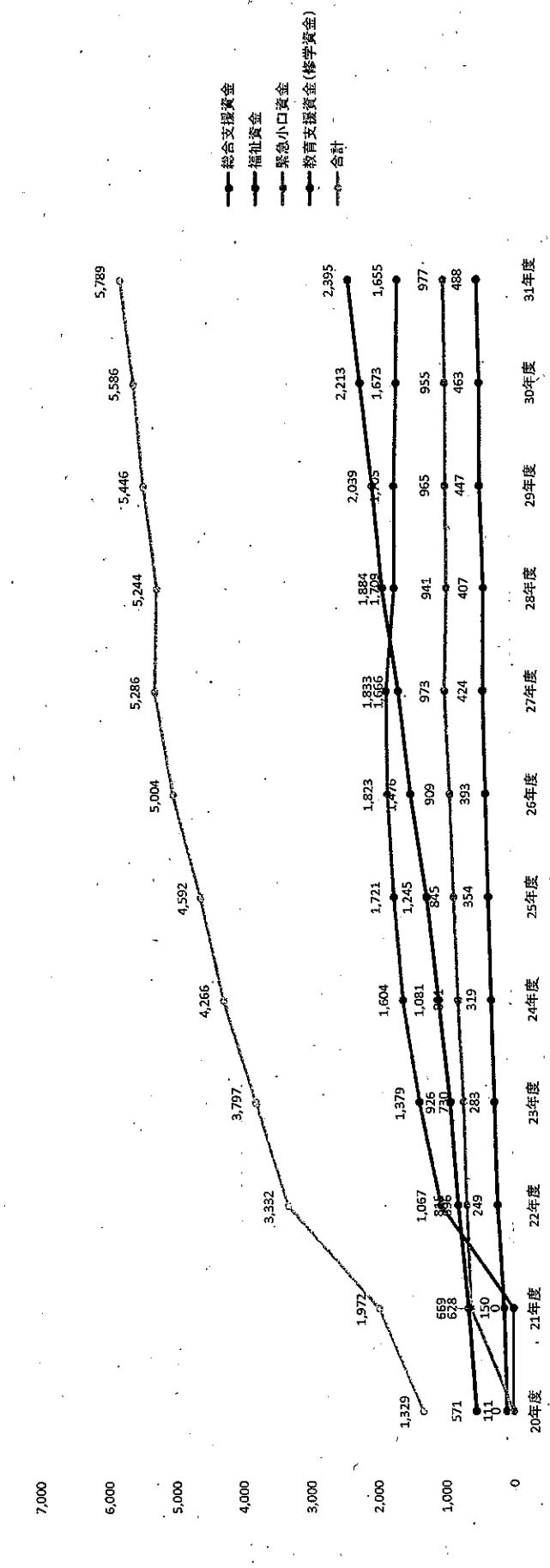
臨時特例つなぎ資金	36	2,949,690	38	3,019,690
-----------	----	-----------	----	-----------

別表3

生活福祉資金種類別貸付状況(平成20年度～平成31年度)

資金	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合支援資金	0	1,067	1,319	1,604	1,721	1,823	1,833	1,709	1,705	1,673	1,655	1,655
福祉資金	111	150	249	283	319	354	393	424	407	447	463	488
緊急小口資金	0	628	696	730	801	845	909	973	941	965	955	977
生活復興支援資金	0	0	0	7	9	9	9	9	9	9	9	9
教育支援資金(修学資金)	571	669	815	926	1,081	1,245	1,476	1,666	1,884	2,039	2,213	2,395
更生資金	186	118	115	108	106	104	101	56	53	52	50	50
障害者更生資金	45	37	35	31	28	24	21	20	14	13	12	10
生活資金	31	25	24	22	21	19	19	14	14	14	12	12
住宅資金	140	94	84	80	74	59	53	52	33	30	29	26
療養・介護等資金	84	73	65	61	59	55	50	47	41	40	39	39
災害支援資金	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
離職者支援資金	150	176	170	157	147	139	132	128	119	114	109	108
不動産担保型生活資金	6	0	6	6	6	6	6	5	5	5	5	4
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	3	0	0	4	5	6	7	8	11	11	14	15
合計	1,329	1,972	3,332	3,797	4,266	4,592	5,004	5,286	5,244	5,446	5,586	5,789

貸付件数



別表4

生活福祉資金の貸付支出に対する償還の割合(不動産担保型生活資金を除く)

令和2年3月末日現在

(単位:円)

資金種類	貸付金支出累計(A)	償還金収入累計(B)	B/A
総合支援資金	1,674,216,373	381,265,467	22.77%
福祉資金	1,038,342,079	781,568,221	75.27%
緊急小口資金	198,822,000	121,160,917	60.94%
生活復興支援資金	4,559,886	1,044,340	22.90%
教育支援資金	2,625,757,803	1,045,457,285	39.82%
更生資金	980,305,078	849,337,399	86.64%
(障害者)更生資金	1,116,559,711	1,062,970,668	95.20%
生活資金	59,457,271	50,554,164	85.03%
福祉資金(住宅)	1,853,637,265	1,791,764,561	96.66%
療養・介護等資金	129,056,013	108,106,644	83.77%
災害援護資金	35,243,918	31,809,413	90.26%
離職者支援資金	309,974,000	166,001,730	53.55%
合 計	10,025,931,397	6,391,040,809	63.75%

臨時特例つなぎ資金の貸付支出に対する償還の割合

令和2年3月末日現在

(単位:円)

資金種類	貸付金支出累計(A)	償還金収入累計(B)	B/A
臨時特例つなぎ資金	8,362,000	5,412,310	64.73%

【事業部門】

<地域福祉課、地域共働課>

1 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

(1) 子どもの笑顔のスポンサー活動の推進

①団体・個人のスポンサー登録の推進

　　スポンサー登録実績 268件（累計470件）

②はぐくみ基金への寄付の推進

　　スポンサーからの寄付実績 18,169,823円（物品等金額換算分を含む）

(2) 地域食堂としての子ども食堂推進

①子ども食堂つながりネットワーク SHIGA の活動推進

ア. 子ども食堂交流会の開催

　　開催日 令和元年12月4日（水）

　　会場 草津市内

　　参加者 17人

イ. 子ども食堂フェスタの開催

　　開催日 令和元年8月18日（日）

　　会場 センター

　　参加者 550人

　　内 容 カレーサミット、遊び・体験コーナー、縁日コーナー、ステージコーナー

ウ. 子ども食堂実践者研修会

　　テーマ 食物アレルギー～正しく知って子ども食堂でできる工夫をみんなで考えよう～

　　講 師 滋賀県立小児保健医療センター 看護師／小児アレルギーエデュケーター

　　子ども食堂スマイルシード 代表 笹畠美佐子

<彦根会場>

　　開催日 令和元年11月22日（金）

　　会場 ビバシティ彦根 研修室

　　参加者 15人

<草津会場>

　　開催日 令和元年11月26日（火）

　　会場 センター

　　参加者 22人

エ. 子ども食堂保険加入促進事業

　　参加者にとって安心・安全な場となるよう支援するため、44か所に保険料を助成した。

オ. 子ども食堂推進委員会

　　2回開催（令和元年9月30日（月）、令和2年1月16日（木））

②地域食堂としての子ども食堂づくり

ア. 子ども食堂開設数

　　130箇所（継続115箇所、新規15箇所）

イ. 子ども食堂立ち上げ資金の助成

　　9箇所（各10万円）

ウ. 子ども食堂開設準備講座「知りたい！はじめたい！子ども食堂講座」の開催

子ども食堂開設を支援するための講座を3回開催した。

内 容 講義「子どもを取り巻く環境と子ども食堂の意義」

NPO法人こどもソーシャルワークセンター 幸重 忠孝
実践報告

<第1回>

開催日 令和元年10月23日(水)

会 場 水口社会福祉センター 福祉ホール

参加者 52人

報告者 たんぽぽ食堂(伴谷たんぽぽの会) 奥村 美津代、平本久美子

<第2回>

開催日 令和2年1月22日(水)

会 場 社会福祉法人ほのぼの会 遊楽庵

参加者 15人

報告者 ほのちゃん食堂(社会福祉法人ほのぼの会) 竹内 正世

松の実みんなの食堂(社会福祉法人唐崎福祉会) 山浦 輝美、小川 智子

<第3回>

開催日 令和2年2月13日(木)

会 場 草津市立市民交流プラザ 中会議室

参加者 27人

報告者 子ども食堂ひがしこ(吉身東自治会) 小西 由美子

緑のはらぺっこ食堂(I.キャンバス) 今村 崇志

③広報啓発活動の強化

ア. はぐくみプロ通信の発行

発行回数 1回

発行部数 4,000部

イ. 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」ホームページ、Facebookページの運営

ウ. 啓発イベントへの参加

- ・「“ごはん”を通じた垣根のない居場所 遊べる・学べる淡海子ども食堂ってどんなところ?」

開催日 平成31年4月14日(日)

会 場 イオンモール草津 3階

内 容 子ども食堂クイズラリー、フォトスポット、
折り紙コーナー(NPO法人レイアディアえにしの会)

- ・「甲賀市子ども食堂啓発イベント」

開催日 令和元年5月2日(木)

会 場 アル・プラザ水口店

内 容 遊べる・学べる淡海子ども食堂紹介ブースの設置

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」Tシャツ販売

- ・「おいで～な滋賀 体感フェア」

開催日 令和元年9月21日(土)、22日(日)

会 場 烏丸半島

内 容 子ども食堂クイズラリー、フォトスポット
ボディペイント(ART PAINT DECO★by 1DAY ALICE)

- ・「じんけんフェスタしが2019」

開催日 令和元年9月28日（土）
会 場 近江八幡市文化会館
内 容 遊べる・学べる淡海子ども食堂紹介ブースの設置、子ども食堂クイズラリー
工. 子ども食堂の実態・ニーズ調査
農業者と連携した取組の実態やニーズを把握するための調査を実施した。
回答期間 ①令和元年11月26日～12月13日
②令和2年1月21日～1月31日
回 答 数 55食堂（回答率 約42%）

（3）社会福祉法人等と共に働いたフリースペースの推進

- ①他法人との共働によるフリースペース事業の推進
フリースペースの運営支援のため、12か所に経費助成を行った。
- ②フリースペース運営者・子ども支援関係機関の研修交流会

<第1回>

開催日 令和元年10月21日（月）
会 場 草津市まちづくりセンター
参加者 27人
内 容 各フリースペースの紹介
実践報告「フリースペースの“卒業”の考え方」
フリースペースさわのそよ風 中清水 恒子
高島市社会福祉協議会 是永 麻記子
アドバイザー 特定非営利活動あめんど 恒松 瞳美
情報交換（グループワーク）

<第2回>

開催日 令和2年1月27日（月）
会 場 コミュニティセンター大宝 大会議室
参加者 36人
内 容 報告①「フリースペースの成り立ちと大切にしていること」
特別養護老人ホームカーサ月の輪 施設長 日比晴久
報告②「学校現場から見える学校・家庭以外の“第3の居場所”的必要性」
滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 主査 岩脇 俊博
フリースペースの紹介
大津市社会福祉協議会 渡辺 慶
高島市社会福祉協議会 是永 麻記子
情報交換（グループワーク）

③推進委員会

2回開催（令和元年11月26日（木）、12月23日（月））

（4）社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり

- ①委員会の開催
ア. 「要養護児童の自立支援」推進委員会の開催（7回開催）

<開催日>

平成31年4月11日（木）、令和元年5月20日（月）、7月1日（月）、7月29日（月）、
10月1日（火）、11月28日（木）、令和2年2月3日（月）

②ハローーわくわく仕事体験事業の実施

ア. 協力事業所の開拓

・協力企業・事業所数：165企業・事業所（新規開拓20企業・事業所）

イ. 中高生の「ハローーわくわく仕事体験」の実施

・春休み：12企業・延べ15人 ・GW： 8企業・延べ8人

・夏休み：19企業・延べ28人 ・冬休み：13企業・延べ16人 合計：52企業・67人

ウ. 小学生の「工場・職場体験」の実施

・春休み：4企業・延べ10人 ・夏休み：4企業・延べ8人

・冬休み：5企業・延べ6人 合計：13企業・24人

エ. 就労体験に向けたキャリアアップセミナーの開催

<第1回> (小中学生向け)

開催日 令和元年 7月 7日 (日)

会 場 ウイングプラザ栗東

参加者 32人

内 容 『《すきなものbingo&お仕事マップ》』『いきいきゲーム』に挑戦！

～夢！自分！発見！！ 自分を知り、社会を知り、自立する～

講師：NPO法人 くさつ未来プロジェクト 堀江 尚子

<第2回> (中高生向け)

開催日 令和元年 12月 8日 (日)

会 場 大津市勤労福祉センター

参加者 29人

内 容 『ビジネスシミュレーションゲーム』

楽しみながら社会の仕組みや仕事について学び自分の得意を発見しよう！

講師：NPO法人 ブリッジフォースマイル 永久 理恵

オ. 就労体験に向けたプロフェッショナルセミナーの開催

<第1回>

開催日 令和元年 6月 15日 (土)

会 場 ビバシティ彦根

参加者 中高生28人

内 容 プロの仕事や生き方をのぞいてみよう

事業所のプレゼンテーションとブースに分かれての懇談

(話し手)

(株) ピアライフ

大川 葵

"

平野いづみ

(株) びわ湖タイル

中野 光一

北近江リゾートパン工房ティム

代表取締役

田中 美穂子

グリーン・ファーム湯ノ口

総支配人

湯ノ口 緑也

宮川バネ工業(株)

専務取締役

宮川 紘理子

さいとう助産院

代表

齋藤 智孝

(株) クローバー

姉崎 弘二

NPO法人小江戸彦根

副理事長

和田 一繁

"

副理事長

児島 誠司

西口左官(株)

代表取締役

西口 哲史

(有) アップU彦根

代表取締役

上西 信昭

"

アドバイザー

鈴木 力ナエ

(株) 安土建築工房

総務部

西澤 光

<第2回>

開催日 令和元年8月9日（金）
 会 場 センター
 参加者 小中学生67人
 内 容 「しがの子ども 仕事体験PARK」
 プロの技にチャレンジ！仕事体験
 (参加企業：18企業)
 特別養護老人ホームカーサ月の輪・永興藤尾こども園・
 特別養護老人ホームゆいの里・琵琶湖ドローンウォーカー・
 松尾バルブ工業（株）・（株）大樹シール印刷・
 （福）パレット・ミル・油藤商事（株）・（株）びわ湖タイル・
 滋賀双葉ビル整備（株）・滋賀建機（株）・（株）EGS・
 トヨタ紡織滋賀（株）・関西電力（株）滋賀支社・宮川バネ工業（株）・
 さいとう助産院・北近江リゾートパン工房Tim・コーヒーハウスCODA

<第3回>

開催日 令和元年11月10日（日）
 会 場 センター
 参加者 中高生33人
 内 容 プロの仕事や生き方をのぞいてみよう
 (話し手)

(株)国華荘びわ湖花街道	社長室室長	高野健一郎
(有)アイムインターナショナル	経営企画室	笙原梨紗子
"	"	塩山 瞳美
(有)富総	警備事業部次長	前里 朝康
"	指導教育チーム主任	奥出 悠斗
北近江リゾートパン工房ティム	総支配人	田中 美穂子
"		清水 龍也
(株)アーム保険設計	代表取締役	上田 幹人
さいとう助産院	助産師	斎藤 智孝
"		三宅 昌子
(有)カーテックウカイ	代表取締役	鵜飼 龍馬
"		小笠原忠智
(株)六匠	取締役	松川 恵
Neoest Log byあんくるトム	ネイリスト	谷田 結菜
(株)ベジカフーズ滋賀本社工場	所長	福岡 典子
元気っすミーオ大五農園株	取締役社長	野口真理子
"	サービス管理責任者	太田 真

③退所後の居場所づくりと自立支援のネットワークづくり

ア. ほっとスポットの運営支援

児童養護施設等の退所児童等が社会に出てからも気軽に立ち寄り相談できる居場所（ほっとスポット）として設置し、仕事や暮らしの困りごとなどの相談窓口機能を果たすことにより退所児童等の自立を支援するため、ほっとスポット事業を実施する2法人に対して助成を行った。

(助成先)

<ほっとスポットこばと>

- ・開始時期 平成29年9月
- ・実施主体 社会福祉法人小鳩会

<ほっとスポット四つ葉カフェ>

- ・開始時期 平成29年9月

- ・実施主体 認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー
- イ. 「社会的養護の子どもたちの社会への架け橋」企画委員会の開催
 - <第1回>
 - 開催日 令和元年11月1日（金）
 - 会場 滋賀県大津・高島子ども家庭相談センター
 - 参加者 10人
 - <第2回>
 - 開催日 令和2年3月9日（月）
 - 会場 滋賀県大津・高島子ども家庭相談センター
 - 参加者 12人
- ウ. 児童養護施設等退所者等自立支援貸付事業・そらまめガイド・ほっとスポット説明会の開催（資金担当再掲・詳細）
 - ・高校生向け
 - <開催日>
 - 湘南学園：令和元年11月28日（木）
 - さざなみ学園：令和元年12月2日（月）
 - 愛東コミュニティセンター：令和元年12月3日（火）
 - FHだんらん：令和元年12月5日（木）・16日（月）
 - 小鳩の家：令和元年12月7日（土）・11日（水）
 - 守山学園：令和元年12月13日（金）
 - 鹿深の家：令和元年12月23日（月）
 - 合計：9回
- エ. 啓発活動
 - ・ハローわくわくニュースレターの発行
 - Vol. 5…令和元年7月発行：約150部
 - Vol. 6…令和元年11月発行：約150部
 - Vol. 7…令和2年3月発行：約150部

2 ひきこもり者・家族とともに歩む地域づくりの推進（さわらび福祉会との共働事業）

- (1) 家族会とつながるキーパーソン（支援者）のつながりづくり
 - 各圏域における、ひきこもり支援のネットワーク体制の形成と強化を図るため、以下の活動を実施した。
 - ①ひきこもり者の実態把握のための県内民生委員・児童委員を対象とした「ひきこもり等に関するアンケート調査」の実施
 - 滋賀県民生委員児童委員協議会連合会と滋賀県市町社会福祉協議会会长会との共働のもと実施した。
 - 調査方法 県下の民生委員児童委員3,238名に対し、7月または8月の各地区の民生委員児童委員協議会の定例化にてアンケート方式で実施
 - 回収結果（有効回収率） 2,840人（87.7%）
 - 把握していたひきこもり者数 941人の民生委員児童委員が1,428人を把握
 - ②被保護世帯におけるひきこもり者数の調査
 - 県内の福祉事務所の協力を得て、被保護世帯におけるひきこもり者数を把握した。
 - 実施時期 令和元年12月
 - 調査結果 県内の被保護実人数10,978人のうち304人（2.8%）がひきこもり者（うち単身者159人）
 - ③「ひきこもり支援ネットワーク化を目指して」の発行
 - アンケート調査の周知・広報と、ひきこもりについての理解促進、県内の支援機関の集約を目的に冊子を作成した。

発行部数 5,000部

④滋賀県域の支援者研修会の実施

県内のひきこもり支援の向上と支援者同士のつながりづくりとして、全国ひきこもり支援フォーラムに参加した。

開催日 令和元年8月26日（月）

会 場 岡山県立大学 講堂

参加者 41人（11市1町）

⑤ひきこもり電話相談の実施

ア. 緊急電話相談の実施

令和元年5月に起きた東京都練馬区と川崎市の事件報道により、ひきこもり者と家族のための緊急電話相談を実施した。

実施期間 令和元年6月17日（月）～19日（水）

実施機関 （福）さわらび福祉会甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』、高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」、大津市社会福祉協議会、県社協

相談件数 55件

イ. 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』との共働で継続的な電話相談の実施

実施日時 令和元年10月より毎週木曜日12時～18時

相談件数 90件（累計）

（2）各圏域における相談支援の強化と支援者ネットワークの構築

①甲賀・湖南ひきこもり支援「奏一かなでー」

ひきこもりの人と家族に学ぶ地域づくりを目標に、さわらび福祉会が中核となり、民生委員児童委員協議会、市役所、市社協、保健所とさわらび福祉会（事務局）による「奏一かなでー」運営会議で方向性を共有しながら以下の活動を継続的に実施した。

ア. 個別支援の実施

訪問や面接等の継続したひきこもり者と家族の個別支援を実施した。また、関係機関との多職種連携をすることで、ひきこもり者と家族を多角的に支える個別相談支援を実施した。

イ. 交流や「その人らしく」いられる場づくり

共通項の見られる当事者家族同士の出会いの場や、地域のなかで当事者の強みを活かせる場づくりの企画検討と実施を行った。

ウ. ネットワークづくり

医療・保健・障害・福祉の関係機関による分野・所属を越えた共働をすすめながら県内で同様の取り組みをすすめている団体とのネットワークづくりと強化を行った。

<内容>

「奏一かなでー」運営会議（5回）

アウトリーチ・奏サロン部会（4回）

家族支援部会（4回）

地域啓発・交流部会（4回）

エ. 啓発講演会等の開催

圏内外問わず、滋賀県内を対象に、ひきこもり者や家族の学びや回復の後押しとなるような人づくり、地域づくりにむけた啓発・交流活動を実施した。（計36回）

オ. 冊子の作成

これまで取り組んできた当事者支援、家族支援、地域啓発の実践を整理し、その成果をひきこもり支援に携わる専門職員の実践のヒントとするため、活動集を作成した。また、市民向け、家族向けの啓発資材を作成した。

②高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」

高島市社会福祉協議会が中核となり、つながり応援センターよろず「つながり応援支援者

「ネットワーク会議」の中で、ひきこもり者とその家族を支援するために多職種の連携を深め、仕組みづくりを進めていくため、以下の活動を継続的に実施した。

ア. 個別支援の実施

訪問支援を軸に、電話やメール相談に応じ、ケースの掘り起こし、アウトリーチを行った。また、支援関係機関による支援情報の共有と分析を行い、個別問題の地域課題化を図った。

イ. ネットワークづくり

ひきこもり支援に関わる関係機関と連携し、課題意識を共有し、必要な取り組みの方向性について意見交換を行い、入り口から出口まで連携した支援を実施するためのネットワークづくりを行った。

<内容>

- ・つながり応援支援者ネットワーク会議（2回）

(第1回)

ひきこもり当事者も会議に参加し、参加しやすい居場所について当事者と共に検討、協議を行った。

(第2回)

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により中止

ウ. 交流や、その人らしいられる居場所づくり

当事者同士の出会いの場や、地域の畠等を活用した、当事者の強みを活かせる場づくりの実施を行った。

③長浜市におけるひきこもり支援のしくみづくり

昨年度の支援者交流会・学習会をふまえヒアリングを実施。行政から『他機関協働による包括化支援事業』の委託を受け、相談包括化推進員を配置し、複合的な課題に対する各相談機関の連携を図るためのコーディネート、後方支援を行っていることを確認した。

また、行政主催による地域共生推進会議でひきこもり支援を主題とし、関係者によるネットワーク化に向け、学習、研修の場を開催された。

別途、支援者の学習会について共同開催を模索していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の動きもあり実施しなかった。

④大津圏域・湖南圏域におけるひきこもり支援のしくみづくり

社会福祉協議会を中心とした、支援者連絡会、ひきこもり支援を考える研修・学習会を開催し、情報交換、学びを通して、ひきこもり支援者同士の連携・協働の一歩となるつながりの構築を図った。

ア. 支援者連絡会（ネットワーク会議）の開催

大津市社会福祉協議会、湖南圏域（草津市、栗東市、守山市、野洲市）の市町社会福祉協議会のひきこもり支援の現状と課題を共有し、本人支援や家族支援、居場所支援のあり方を検討した。（計3回）

イ. キックオフフォーラムの開催

地域の理解促進とひきこもり支援に関わる関係機関が連携・協働するきっかけとして、ひきこもり支援を考えるフォーラムを開催した。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により、参加者なしでフォーラムを開催。

撮影した映像をネットワークメンバーで共有し、ネット等で配信する。

開催日 令和2年2月29日（土）

会 場 明日都浜大津ホール

講 師 岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 周防 美智子

株式会社ウチらめっっちゃ細かいんで 代表取締役 佐藤 啓

⑤彦根市におけるひきこもり支援のしくみづくり

彦根市社会福祉協議会が中核となり、ひきこもり者とその家族を支援するために他職種の連携を深め、ネットワーク構築を進めていくため、以下の活動を実施した。

ア. 支援者のネットワーク構築に向けたキックオフ会議の開催

保健、医療、福祉等の関係機関が、ひきこもり支援にかかる現状と課題を共有し、各機関の機能を整理したうえで、今後の取り組みや方向性について検討を行った。(計2回)

イ. 「ひきこもり支援を考えるフォーラム」の企画

大津圏域・湖南圏域市町社会福祉協議会とともに、北部でのフォーラム開催を企画した。※新型コロナウィルス感染拡大防止の対応により中止

3 えにしの日と連携した災害時要配慮者支援ネットワークの強化

(1) 県災害ボランティアセンターの運営

①災害ボランティアセンター運営協議会の開催

ア. 運営協議会(担当者合同)

<第1回>

開催日 令和元年6月24日(月)

会場 県危機管理センター

内容 平成30年度の取組報告について

令和元年度の取組について

県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練について

各構成団体の取組に係る情報交換

イ. 担当者会議

<第1回>

開催日 令和元年8月8日(木) 10:00~12:00

会場 県危機管理センター

内容 県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練について

<第2回>

開催日 令和元年10月25日(金) 10:00~12:00

会場 県危機管理センター

内容 令和元年台風第19号の被災・支援状況について

県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練の振り返り

②機動運営訓練の実施

開催日 令和元年9月1日(日)

会場 県危機管理センター

内容 非常時体制移行訓練、支援要請等に対する対応検討訓練、平常時体制移行訓練、訓練全体の振り返り

参加者 26人

(2) 「えにしの日」～ユーザーの立場にたった災害時要配慮者ネットワークの強化

①県災害時要配慮者支援ネットワーク会議(全体会議)

開催日 令和元年7月23日(火)

会場 センター

内容 構成団体等の取組報告

滋賀肢体障害者の会「みづのわ」片山 雅崇

「障害者・家族の防災意識に関する実態調査の報告について」

社会福祉法人滋賀県視覚障害者福祉協会 伊東 正樹

「福祉避難所開設・運営訓練について」

甲賀市国際交流協会 古谷 兼一

「甲賀市災害時多言語情報センターについて」

- ②東近江圏域災害時要配慮者支援ネットワーク会議

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催

- ③災害派遣福祉チーム（DWAT）のチーム員養成研修

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催

- ④災害派遣福祉チーム検討会（県と共同事務局）

2回開催（令和元年8月23日（金）、10月23日（水））

- ⑤各圏域でのネットワークを生かした「えにしの日」の取組推進（ユーザーの立場にたった計画やマニュアルの点検等の活動を通じた学習会）

11団体から計画書の提出があったが、10団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため取組を延期又は中止となった。

- ⑥台風第19号災害における被災地災害ボランティアセンター運営支援

台風第19号により被害を受けた被災地、被災者の支援のため、被災地に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援した。

期 間 令和元年10月25日（金）～12月2日（月）

人 数 8人

派遣先 福島県郡山市災害ボランティアセンター

4 権利擁護センター・成年後見サポートセンターのネットワークづくり

- (1) 各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターを中心とした「権利擁護支援のしくみ」の構築推進

- ①各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターへの協力

・長浜市成年後見・権利擁護センター（社協）運営委員会

・高島市成年後見サポートセンター（社協）運営委員会

・米原市権利擁護センター（社協）運営委員会

・成年後見センターもだま運営適正化委員会

- ②圏域成年後見サポート・権利擁護センター連絡会の開催

開催日 令和元年8月5日（月）

会 場 センター

内 容 ・令和元年度の重点事業および今後の取り組み課題について

・成年後見制度と地域福祉権利擁護事業について

・権利擁護センターネットワーク会議（連絡会）の持ち方について

- ③市町・圏域権利擁護支援体制整備に関する支援

・県内圏域で実施された成年後見制度等なんでも相談会へ職員の派遣を行った。

湖南（1回）、甲賀・湖南（1回）、米原市（1回）

- ④関係機関会議への参画

ア. 成年後見・権利擁護センター、成年後見制度に関わる団体等との会議等への参画

イ. 障害者自立支援協議会事業部会への参画

ウ. 県・各市町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議等への参画

エ. その他関係機関会議への参画

- ⑤権利擁護基盤づくりための啓発活動

ア. HP等による啓発

- イ. 人権啓発ネットワーク会議への参画
- ウ. 各行政・関係団体等主催研修への講師紹介や派遣

5 しがのボランティア活動ネットワークの推進

(1) 淡海フィランソロピーネットと共に活動した企業・団体の社会貢献活動の推進

①淡海フィランソロピーネット

ア. 副運営委員長・事務局書記会議

3回開催（令和元年7月22日（月）、10月24日（木）、令和2年2月18日（火））

イ. 運営委員会

3回開催（令和元年5月27日（月）、8月29日（木）、11月25日（月））

ウ. 総会

開催日 令和元年7月31日（水）

会場 琵琶湖ホテル

議題 2019年度事業計画および収支予算（案）について等

エ. 会員研修

開催日 令和元年11月7日（木）

会場 草津市立市民交流プラザ中会議室（フェリエ南草津5階）

参加者 23人

内容 講演『「もったいない」から「ありがとう」へ変えるフードバンクの果たす役割』

特定非営利活動法人フードバンクふじのくに 事務局次長 鈴木 和樹

実践報告

フードバンクびわ湖 共同代表・事務局長 堀 豊

社会福祉法人大津市社会福祉協議会

地域福祉課自立支援グループリーダー兼主任相談支援員 山崎 晴美

②企業・団体の社会貢献セミナー

ア. セミナー

開催日 令和元年7月31日（水）

会場 琵琶湖ホテル

参加者 106人

テーマ 「SDGsと共生社会」～子ども・若者が夢と希望を持てる社会の実現に向けて～

内容 講演「SDGsと共生社会」

・社会活動家／東京大学先端科学技術研究センター特任教授／全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長 湯浅 誠

実践報告

・「SDGsに対応する当社のCSR活動」

AINZ株式会社 常務取締役 谷 康夫

・「パン工房Tin初めての試み～社会的養護の子どもたちとの仕事体験～」

新木産業株式会社 北近江リゾート 総支配人 田中 美穂子

対談「地域課題と子ども食堂」

社会活動家／東京大学先端科学技術研究センター特任教授／全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長 湯浅 誠

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 会長 渡邊 光春

イ. トップセミナー

開催日 令和2年2月12日（水）

会 場 琵琶湖ホテル

参加者 56人

テーマ これから企業経営へ「いい会社」をつくるための組織づくり、人づくり、社会貢献～

内 容 講演「これから企業経営」

株式会社 eumo 代表取締役 新井 和宏

鼎談「『いい会社』をつくるための組織づくり、人づくり、社会貢献」

株式会社 eumo 代表取締役 新井 和宏

株式会社日吉 代表取締役社長 村田 弘司

淡海フィランソロピーネット 運営委員長 大道 良夫

③企業・団体の社会貢献活動に関する情報発信

情報誌「そろふいあ」の発行

(2) しがボランティアネット（ホームページ）による広報啓発

延べ訪問者数 165,335件

実訪問者数 80,353件

(3) 教職員介護等体験事業の実施

①体験者数 829人

②受入施設数 147施設

③受入施設種別及び体験者数

施設種別	受入施設数	体験者数
生活保護施設	1	2
老人福祉施設	101	654
児童福祉施設	7	22
老人保健施設	6	27
障害者福祉施設	32	124
合計	147	829

(4) 福祉学習資機材の貸出

貸出機材	貸出件数	貸出数
ビデオ・DVD	11	24
点字版	4	141
車椅子	29	245
白杖	3	12
その他 (HUG等)	3	3

6 「ひたすらなるつながり」発信力の強化

(1) 広報誌：季刊「ひたすらなるつながり」の発行

<第2号>

発行月 令和元年6月

部 数 4,000部

特 集 「児童虐待」子どもの命と笑顔を守る現場からのレポート

<第3号>

発行月 令和元年9月

部 数 4,000部

特 集 「健康の概念を問い直す」私たちはどのような健康をめざすのか

<第4号>

発行月 令和2年2月

部 数 4,000部

特 集 「災害と福祉」地域と施設と行政で一緒にマニュアルをたどってみた

(2) ひたすらなるつながりフォーラムの開催

①滋賀県社会福祉トップセミナー

開催日 平成31年4月21日(日)

会 場 琵琶湖ホテル瑠璃

参加者 106人

内 容 講演「2040年を展望した社会保障・働き方改革～地域共生社会への課題設定とアクション」

厚生労働省大臣官房審議官(総合政策(社会保障)担当) 伊原和人

鼎談「ひたすらなるつながり」を目指した多様な主体との共創による福祉実践

厚生労働省大臣官房審議官(総合政策(社会保障)担当) 伊原和人

小鳩乳児院 施設長 山本 朝美

滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局 局長 大岡 紳浩

②ひたすらなるつながりフォーラム

開催日 令和元年10月9日(水)

会 場 ピアザ淡海 大会議室

参加者 163人

内 容 「三日月大造滋賀県知事に聞く!『滋賀ならではの共生社会』」

滋賀県知事 三日月 大造

同志社大学 教授 上野谷加代子

対談「『おめでとう』から『ありがとう』まで～縁架け橋プロジェクト」

社会活動家／東京大学特任教授 湯浅 誠

滋賀県社会福祉協議会 会長 渡邊光春

同志社大学 教授 上野谷 加代子

リレートーク

滋賀県老人福祉施設協議会 会長 藤居 真

出会い食堂♪よっといで～♪ 代表 杉山 泰子

株式会社六匠 取締役／フリースペースかなで 松川 恵

認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー 理事長 杉山 真智子

高島市社会福祉課 参事 清水 潤平

社会福祉法人びわこ学園

滋賀県重症心身障害者ケアマネジメント支援事業企画課長 村井 真理子

彦根市社会福祉協議会 地域福祉課長 森 恵生
テーマ別名刺交換会

- ①子ども食堂のこれからを考える
- ②高齢者施設を活用した子どもの居場所フリースペースを深掘り
- ③高齢者施設を活用した中高年障害者の居場所づくりをプランニング
- ④ひきこもり者・家族への訪問型・伴走型支援のしくみを考える
- ⑤医療的ケアを必要とする重度障害児の生活支援～求められていること、できること
- ⑥重度障害者の生活支援～家族支援を考える
- ⑦児童養護施設を退所した若者の支援～求められていること、できること
- ⑧働きづらさを抱える人の働く場のつくり方を考える
- ⑨住まいの確保が難しい人への支援を考える
- ⑩在宅介護者（ケアラー）へのケア～求められていること、できること
- ⑪介護現場を支えるテクノロジー～A I & I C T のことを深掘り
- ⑫「滋賀の福祉人」定着支援のアイデアを出し合おう

(3) 第38回滋賀県社会福祉学会の開催

開催日 令和2年2月21日（金）

会 場 センター

参 加 者 300人

内 容 自由研究発表

・発表題数：35題（口述発表35題）

シンポジウム

「地域共生社会に向けて福祉従事者の役割を問う～滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例制定から約1年を経て～」

(シンポジスト)

滋賀県健康医療福祉部 健康福祉政策課 課長 丸山 英明

特定非営利活動法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー所長、

滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例地域アドボケーター 桐高 とよみ

社会福祉法人グロー オープンスペースそれがーと総合施設長、

デイサービスセンターらく 管理者 角野 晃子

認定特定非営利活動法人あさがお 理事 尾崎 史

(コーディネーター)

特定非営利活動法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長、

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり研究研修所 所長、

滋賀県障害者施策推進協議会 会長 北野 誠一

奨励賞の授与

(受賞者)

「口腔衛生管理の介入状況とその有用性について」

介護老人保健施設草津ケアセンター

橋本 純子

辰巳 亜由美

「利用者家族のニーズに対する柔軟なサービス提供のあり方を探る」

米原市社会福祉協議会 デイサービス寄ろ家うかの

西川 雄也

杉山 晃平

「重症心身障害者に対するノーリフティングケアの効果」

びわこ学園障害者支援センター えがお

近藤 真美

「施設を巣立った子ども達の追跡調査Ⅱ

～滋賀県の児童養護施設を退所した若者の語りから見えてきたもの～」

滋賀県児童福祉入所施設協議会調査研究部会 「地域サロン支援とカルナ羊プロジェクトめえ ～地域における公益的な取り組み～」 社会福祉法人慈照会カルナハウス	舛田 亮平
	野田 香也子 中村 彩乃
「地域福祉と共同募金改革～ご近所福祉ルネッサンス～」 甲賀市共同募金委員会 甲賀市社会福祉協議会	大倉 崇弘
「ひきこもりがちな人の支援を通じて生まれた 地域住民との新たな出会い」 社会福祉法人さわらび福祉会 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなでー』	北出 篤嗣

(4) 研究誌「滋賀社会福祉研究第22号」の発行

発 行 令和2年2月

掲載内容 卷頭言

滋賀県精神保健福祉士会 梶 佳意子

論文

「介護の専門性を探求するための枠組み－診療と看護を補助線として－」

南海福祉看護専門学校 介護社会福祉科 野村 僕

「地域への架け橋－滋賀県における社会的養護の子どもの支援」

島根大学 人間科学部 佐藤 桃子

調査研究ノート

「福祉専門職の基本的態度と相談援助技術に関する影響要因」

－実践経験年数の短い現職職員を主に対象とした調査を通して－」

関西福祉科学大学 教育学部 新川 泰弘

第37回滋賀県社会福祉学会奨励賞レポート

「地域高齢者の自主的な身体機能維持・向上を目的とした『通いの場』の提供～参加者の身体機能の変化を明らかにする～」

社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 上野 浩司

「理念の具現化によるAの生活の変化について」

社会福祉法人幸寿会 特別養護老人ホーム長等の里 今井 貴絵

久城 早絵

「チューブの自己抜去から考える本人の意思決定支援について」

社会福祉法人びわこ学園 障害者支援センター

重症心身障害者通所施設えがお 久木 富久子

「子どもを虐待から守る次世代育成プロジェクト～高校生への出前講座～」

特定非営利活動法人子どもの虐待防止ネットワーク・しが

遠城 孝幸

「子ども食堂（夢の学習料理教室）から学んだこと

～身近な課題の探求とその課題解決に向けて～」

特定非営利活動法人地域で創る土曜日「夢の学習」 黒川 いづみ

辻久 めぐみ

「守山市大曲自治会 災害時保健福祉等専門職ボランティア登録制度」

守山市速野学区 大曲自治会「安心見守り支援ネットワーク会議」

堀江 清

「大津市障害者自立支援協議会における圏域内合同新人研修の取組み

～当事者を講師に招いて、本人主体を学ぶ～」

やまびこ生活支援センター内
大津市障害者自立支援協議会人材育成部 坂本 彩

(5) 2019年度近畿地域福祉学会滋賀大会の開催

開催日 令和元年12月21日（土）
会 場 ピアザ淡海 滋賀県民交流センター
テーマ 「共感の輪を広げる地域づくり」
～ひきこもり者・家族の課題に地域福祉はどう取り組むのか～
参加者 147人

7 社会福祉法人・施設との協働

(1) 他団体が実施する助成事業への協力

- ①ダイトロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力
- ②滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力
- ③オージス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力
- ④大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力
- ⑤24時間テレビ『福祉車両贈呈』への推薦協力
- ⑥滋賀トヨタ自動車株式会社・ネットトヨタ滋賀株式会社「福祉巡回車両贈呈への推薦協力
- ⑦「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力
- ⑧財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力

(2) 滋賀県善意銀行の運営

県域で実施される民間団体等の地域福祉の向上を図る活動への支援のため、「滋賀県善意銀行」として、寄付・預託の受入れと助成を行った。

①寄付・預託の受入れ

株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス 車椅子5台
ショット日本労働組合 ポッチャボールセット
滋賀日産自動車株式会社 車椅子20台
株式会社ケーエスケー 車椅子20台
関西遊技機商業組合 車椅子5台、クッション5台
株式会社セブンイレブンジャパン 加工食品、お菓子、雑貨等
金銭預託 300,000円

②助成

令和元年度 第51回近畿児童養護施設研究協議会「びわこ大会」 100,000円
第70回 滋賀県母子寡婦福祉大会 200,000円
滋賀県保育協議会50周年・保育士/保育教諭部会結成60周年記念事業（記念式典、記念誌発行） 270,000円

8 重度障害児者の入浴支援事業の推進（滋賀県障害者自立支援協議会との共働）

(1) 推進委員会の開催

3回開催（令和元年12月12日（木）、令和2年1月15日（水）、3月18日（水））

(2) 医療的ケアを必要とする重度障害児者の入浴課題解消に向けた研修会

開催日 令和2年2月26日（水）

会 場 滋賀県庁
対 象 市町担当者
参加者 16人（13市町）
内 容 医療的ケアを必要とする重度障害児者の入浴課題の全県的な現状について
社会福祉法人びわこ学園 法人事務局事業企画課長 村井 真理子
縁センターにおけるモデル事業の実践をとおして見えてきたこと
社会福祉法人びわこ学園 山口 俊一
セッション「どこに住んでいてもあつたらいいな、こんな事業！～入浴支援の取
り組みのひろがりに向けて～」
東近江市障害福祉課 係長 廣田 裕幸
相談支援事業所くすのき 相談支援専門員 園田 千鶴
利用者家族 細見 由布子
日野町福祉保健課 主任 山添 和敏
さくらはうす 通所課 課長 山口 俊一
利用者家族 江坂 麻美
(コーディネーター)
社会福祉法人びわこ学園 重症児者相談支援センターびわりん 相談支援専門員 増野 隼人

9 縁・共生の場づくり

（1）滋賀の縁認証・奨励事業

実施しなかった。

（2）縁認証団体等の訪問調査

9団体・施設を訪問し、事例集としてまとめた。

（3）高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所づくり（滋賀県障害者自立支援協議会との共働）

縁センター「居場所づくり小委員会」において、知的障害児・者の居場所づくりについての課題提起がされ、モデル的な取り組みを行ってきたことを、さらに継続、拡充していくけるよう、新たに「中高年障害者の居場所づくり事業推進委員会」を設置し検討を進めた。

①分野を超えた連携による居場所づくり 2か所（大津・湖南）

②中高年障害者の居場所づくり事業推進委員会（1回）

（4）縁推進企画委員会の開催

滋賀の縁創造実践センターの理念と実践の継承に伴い本会定款に追加した事業を推進するため、縁推進企画委員会を設置し、以下の事項を協議検討するため、4回、委員会を開催した。

①定款第2条（15）～（19）に掲げた事業の企画および実施に関すること

②縁特別会員制度普及のための取組みに関すること

③縁基金拡大のための取組みに関すること等

10 生きづらさを抱えた人と地域の架け橋づくり

（1）働きづらさを抱える人の働く場づくり

①県社協での傍楽体験の実施

開催数 11回

参加者 82人

連携相談機関・団体 滋賀県地域若者サポートステーション、大津市社会福祉協議会、滋賀県ひきこもり支援センター

②他法人との共働による傍楽体験事業の推進

2法人（大津市社会福祉協議会、社会福祉法人虹の会）での取組に助成、運営支援を行った。

11 権利擁護支援を必要とする人の相談支援活動

(1) 権利擁護相談、障害者110番事業の運営

<一般相談>

相談受付 件数	相談者			相談方法			
	本人	家族・親 族・知人	関係機 関他	電話	来所	訪問	その他
4月	24	16	4	4	23	1	0
5月	16	10	2	4	14	2	0
6月	6	2	0	4	5	1	0
7月	4	2	1	1	2	0	2
8月	12	4	2	6	12	0	0
9月	13	7	1	5	11	2	0
10月	12	7	0	5	12	0	0
11月	20	9	7	4	18	2	0
12月	12	8	3	1	10	0	2
1月	5	3	1	1	5	0	0
2月	5	3	2	0	5	0	0
3月	14	3	7	4	14	0	0
合計	143	74	30	39	131	8	2

<うち障害者110番>

相談件数合計…114件（障害は別掲）

ア. 知的障害者に関する相談…7件

イ. 精神障害者に関する相談…61件

ウ. 身体障害者に関する相談…19件

(3) 権利擁護に関する普及啓発活動

①障害者虐待防止センターリーフレットの作成・配布…10,000部

(4) 地域福祉権利擁護事業の推進

①市町社協への支援（助言、訪問等）

各市町社協の電話等による個別ケースへの助言を行ったとともに、運営適正化委員会が行う定期現地調査（彦根市、長浜市、草津市、野洲市、湖南市、東近江市、米原市、竜王町、豊郷町、甲良町）について協力を行った。

②契約締結審査会の開催

<第1回>

開催日 令和元年8月7日（水）

場 所 センター

内 容 愛荘町社協からの審査依頼ケース（1件）に対する審査

<第2回>

文書審査にて実施（12月）

内 容 高島市社協からの審査依頼ケース（1件）に対する審査

12 縁アカデミーの創設による「えにし滋賀の福祉人」づくり

(1) 縁アカデミーの創設による「えにし滋賀の福祉人」づくり

①縁アカデミープレ企画「これから共生社会を創造する滋賀の福祉人セミナー」の実施

開催日 令和2年1月16日(木)・17日(金)

会場 滋賀県大津合同庁舎 7階 7B会議室

参加者 39人

テーマ 新しい時代のソーシャルワーカー像をめざして

内容 オープニングセッション

「これから共生社会に向かって福祉専門職を創造しよう！！」

縁アカデミー 学長 同志社大学大学院 教授 上野谷 加代子

滋賀県社会福祉協議会 事務局長 谷口 郁美

大津市社会福祉協議会 事務局次長 山口 浩次

講義1

「滋賀の福祉実践とソーシャルワークで前を向く」

同志社大学 教授 空閑 浩人

ワーク1

「連携のために今日から大切にしたいこと」

大津市社会福祉協議会 事務局次長 山口 浩次

講義2

「地域住民・当事者の視点を大切に地域に入る」

関西学院大学 教授 藤井 博志

ワーク2

「施設も地域も共に福祉実践を語る」

同志社大学 准教授 野村 裕美

大津市社会福祉協議会 事務局次長 山口 浩次

ワーク3

「滋賀の福祉人の実践から宝を掘り当てよう」

同志社大学 准教授 野村 裕美

甲賀市社会福祉協議会

信楽地域福祉活動センター センター長 大谷 喜久

ワーク4

「滋賀の福祉人実践とソーシャルワーク」

(講師)

特別養護老人ホーム ヴィラ十二坊 施設長 森本 信吾

ステップ広場ガル 施設長 木村 和弘

小鳩の家 統括リーダー 山本 順子

(コーディネーター)

縁アカデミー 学長 同志社大学大学院 教授 上野谷 加代子

クロージング セッション

「新しい時代の実践を私たちから発信しよう！」

縁アカデミー 学長 同志社大学大学院 教授 上野谷 加代子

(2) 市町社会福祉協議会との共働による「えにし滋賀の福祉人」の育成

①社協職員新任研修

<1回目>

開催日 令和元年7月16日(火)

会場 センター

参加者 27人

内容 講義「ようこそ社会福祉協議会へ～社協の歴史、ミッションなどを学ぶ～」

滋賀県社会福祉協議会 地域共働課長 杉江 淳子

先輩職員からのメッセージ～社協職員として大事にしてほしいこと～

(話し手)

大津市社会福祉協議会 自立支援グループ主事 奥野 佑樹

彦根市社会福祉協議会 居宅介護支援係介護支援専門員 吉岡 美香子

東近江市社会福祉協議会 総務課主事 森居 可苗

甲賀市社会福祉協議会 甲南地域福祉活動センター長 桑山信彰

野洲市社会福祉協議会 総務課主査 紀平 浩一

湖南市社会福祉協議会 総務課主事 井上 千紗登

高島市社会福祉協議会きらりマキノ 通所介護事業生活相談員 小島 史也

東近江市社会福祉協議会 地域福祉課主事 柴田 遥

愛荘町社会福祉協議会 地域福祉主事 溝上 清志

演習「私のを目指す社協職員像」

情報交換会

<2回目>

開催日 令和2年1月10日(金)

会場 センター

参加者 28人

内容 先輩職員からのメッセージ

(話し手)

大津市社会福祉協議会 地域福祉課権利擁護支援グループリーダー 葛城 朋子

甲賀市社会福祉協議会 地域活動支援課係長(兼)信楽地域福祉活動センター長 大谷 喜久

高島市社会福祉協議会 総務課係長 三矢 大輔

東近江市社会福祉協議会 在宅福祉課 主幹 池田 美哉

演習 今年の振り返り

情報交換会

②コミュニティワーク基礎研修

開催日 令和元年9月6日(金)、7日(土)

会場 グリーンパーク想い出の森

参加者 12人

内容 <1日目>

講義Ⅰ「社会福祉情勢と社協が担うべき役割」

講義Ⅱ「コミュニティワークの価値とプロセスの理解」

演習Ⅰ「地域福祉活動計画のプロセスに学ぶ」

武庫川女子大学 文学部心理・社会福祉学科 教授 松端 克文

事例提供者 東近江市社会福祉協議会 地域福祉課係長 中西 知史

<2日目>

講義Ⅲ「コミュニティワークの実践のために」

演習Ⅱ「コミュニティワークの手法(地域アセスメント、アウトリーチ、ネットワーキング、資源開発)を実践(サロン活動、見守り活動等)から学ぶ」

武庫川女子大学 文学部心理・社会福祉学科 教授 松端 克文

③ボランティアコーディネーター研修

<第1回>

開催日 令和元年5月22日(金)

会場 センター

参加者 19人

内容 ボランティア保険説明、市町社協ボラティアセンターの取組みについての意見交換 等

<第2回>

開催日 令和2年1月22日(水)

会場 社会福祉法人ほのぼの会 遊楽庵

参加者 15人

内容 講義

NPO法人こどもソーシャルネットワークセンター理事長 幸重忠考

社会福祉法人が実施する子ども食堂の実践報告、意見交換 等

④市町社協トップセミナーの開催

開催日 令和元年7月8日(月)

会場 センター

参加者 57人

内容 講演「社協法人経営におけるコンプライアンス維持とガバナンス強化について」

法律事務所First Penguin 代表 弁護士・社会保険労務士 菅田 正明

⑤地域福祉・相談支援担当部課長会議

開催日 令和元年10月2日(水)

会場 守山市福祉保健センター 3階 講習室

参加者 24人

内容 各市町社協の取組課題について

縁架け橋プロジェクトについて

⑥総務・法人経営担当会議

開催日 令和元年10月21日(月)

会場 センター

参加者 44人

内容 講義「同一労働・同一賃金の基本的考え方と実務～均衡待遇と均等待遇～」

糀谷社会保険労務士事務所 所長 糀谷 博和

(3) 生きづらさを抱える人と地域の架け橋となるソーシャルワーカー研修の開催

(生活困窮者支援担当者研修)

①家計改善支援研修会

開催日 令和元年12月25日(水)

会場 センター

参加者 20人

内 容 講義「家計改善支援の基本的な考え方と相談の効果」、「家計表作成は世帯全体の生活そのものを把握し、アセスメントするもの」

生活協同組合連合会グリーンコープ連合 常務理事 行岡 みち子
事例検討

東近江市社会福祉協議会 相談支援課 主事 水谷 友彦

②ひきこもり支援研修会

開催日 令和2年1月24日(金)

会 場 センター

参加者 29人

内 容 講義「ひきこもりの理解・ひきこもり支援の現状と課題」

岡山県立大学 准教授 周防 美智子

報告「ひきこもり支援における滋賀モデルの実践について～ひきこもり者と家族
に学ぶ公私協働事業～」

事例検討

大津市社会福祉協議会 山崎 晴美・北尾 武志

甲賀市生活支援課 上田 佳子

(4) 生活支援コーディネーター研修の実施

①第5回滋賀県生活支援コーディネーター養成研修の実施

開催日 令和元年7月1日(月)

会 場 センター

修了者 76人

内 容 講義「地域福祉と生活支援コーディネーター業務の基本について」

武庫川女子大学 学部 教授 松端 克文

事例報告・グループワークⅠ「生活支援コーディネーターの実際①」

事例報告者 彦根市福祉保健部医療福祉推進課 川寄 孝

彦根市社会福祉協議会 谷澤 健一

グループワーク「気付いたこと自分たちの地域での課題」をテーマに話し合う

事例報告・グループワークⅡ「生活支援コーディネーターの実際②～話し合いの場づくり～」

事例報告者 高島市社会福祉協議会 宮田 早苗

グループワーク「話し合いを円滑に進めるには？」をテーマに話し合う

②生活支援コーディネーター連絡会議によるネットワークづくり(生活支援コーディネーター学習・情報交換会)

<第1回>

開催日 令和元年9月13日(金)

会 場 明日都浜大津 4階 大津市ふれあいプラザ ホール

参加者 45人

内 容 講演「生活支援コーディネーターの課題をふまえた役割の再確認」

武庫川女子大学 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文

事例報告「住民と行政・専門職の協働による計画的な生活支援体制整備と生活支
援コーディネーターの実践」

阪南市社会福祉協議会 主任 坂上 尚大(第1層生活支援コーディネーター)

グループごとの情報交換

<第2回>

開催日 令和2年1月20日（月）

会 場 センター

参加者 87人

内 容 事例報告「米原市における生活支援体制整備事業について」

行政の立場：米原市健康福祉部くらし支援課 主任 伊賀並 亮

生活支援コーディネーターの立場：米原市社会福祉協議会 地域福祉課 中川 慶則

活動者の立場：下板並自治会 福祉委員 長谷 貞夫

情報交換

③滋賀県生活支援体制整備事業推進会議の実施

開催日 令和元年7月10日（水）、9月27日（金）

会 場 センター

委 員 中央研修受講者2名・行政および社協職員4名

内 容 生活支援コーディネーター養成研修及び生活支援コーディネーター学習・情報交換会のプログラムの企画検討等

（5）権利擁護支援担当者研修会の開催

①担当者会議の開催

<第1回>

開催日 令和元年7月9日（火）

会 場 センター

参加者 21人

内 容 話題提供

・大津市社協 権利擁護支援グループリーダー 葛城 朋子

・米原市社協 米原市権利擁護センター

ソーシャルワーカー兼自立生活支援専門員 高橋 規宏

情報交換

②新任職員・生活支援員研修会の開催

<1日目>

開催日 令和元年5月30日（木）

会 場 センター

参加者 18人

内 容 講義1「権利擁護とは」

甲賀・湖南成年後見センターばんじー 所長 桐高 とよみ

講義2「地域福祉権利擁護事業について」

滋賀県社会福祉協議会 地域共働課 杉江 淳子

<2日目>

開催日 令和元年6月5日（水）

会 場 センター

参加者 18人

内 容 講義1「知的障害者の理解と支援について」

社会福祉法虹の会 わになろう 主任 西本 晴美

講義2「精神障害者の理解と支援について」

おおつ働き・暮らし応援センター 西川 健一

<3日目>

開催日 令和元年 6月13日（木）
会 場 センター
参加者 17人
内 容 講義1 「認知症の人の理解と支援について」
　　グループホーム大宝の郷 管理者 永島 政勝
　　講義2 「成年後見制度について」
　　権利擁護センターばあとなあ滋賀 社会福祉士 村田 才司

（6）障害者虐待防止に関わる人材育成・体制整備の促進

①行政職員・虐待防止センター職員対象

市町虐待防止センター担当者および市町行政担当者に対し、通報受理から虐待への対応について理解を深めるため、事例演習・帳票作成を含めた研修を行った。

<1日目>

開催日 令和元年 7月 2日（火）
会 場 センター
参加者 26人
内 容 講義「滋賀県の障害者虐待の現状と行政の役割について」
　　滋賀県健康福祉部 障害福祉課 村上 杏
　　講義「障害者の権利擁護について」
　　認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆
　　講義「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」
　　しろまち法律事務所 弁護士 田嶋 明日香
　　講義と演習「虐待対応の流れと虐待対応帳票類の活用について」
　　しろまち法律事務所 弁護士 田嶋 明日香
　　認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆
　　大津市権利擁護サポートセンター 菅 浩一

<2日目>

開催日 令和元年 8月 29日（木）
会 場 草津保健所
参加者 25人
内 容 講義「障害者虐待対応における市町村の権限と役割」
　　認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆
　　講義と演習「虐待対応の流れの実際について」
　　しろまち法律事務所 弁護士 田嶋 明日香
　　認定特定非営利活動法人あさがお 中原 一隆
　　大津市権利擁護サポートセンター 菅 浩一

②施設長・管理者向け

施設・事業所の管理者を対象に、管理的立場にある者として職場や組織全体で、施設従事者による障害者虐待の防止のための取り組みについて研修を行った。

<北部会場>

開催日 令和元年 11月 8日（金）
会 場 県立文化産業交流会館
参加者 75人

内 容 講義「障害者虐待防止法について」

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 清水 潤

講義「施設従事者に求められる権利擁護とは」

元毎日新聞論説委員 野澤 和弘

演習「虐待防止のためにどのように取り組むか」

(社福) しが夢翔会 障がい児者相談センターみゅう 越野 緑

(社福) 湖北会 ふくらの森 大岡 賢至

(社福) 椎の木会 落穂寮 太田 正則

(社福) 蒲生野会 東近江地域障害者生活支援センターれいんぼう 藤宮 祐憲

(社福) かすみ会 かいぜ寮 柚木 將敬

(社福) 青い鳥会 彦根学園 廣田 佑一郎

<南部会場>

開催日 令和元年 12月 2日 (月)

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 200人

内 容 講義「障害者虐待防止法について」

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 清水 潤

講義「施設従事者に求められる権利擁護とは」

元毎日新聞論説委員 野澤 和弘

講義と演習「虐待防止のためにどのように取り組むか」

(社福) 椎の木会 落穂寮 太田 正則

(社福) 虹の会 川島 和久

川相商事株式会社 滋賀支社 倉場 眞弓

(社福) しが夢翔会 大津市発達障害者支援センターかほん 小崎 大陽

(社福) しが夢翔会 障がい児者相談センターみゅう 越野 緑

(社福) 八身福祉会 小島 滋之

大津市立やまびこ総合支援センター内生活支援センター 藤井 洋平

(社福) 蒲生野会 東近江地域障害者生活支援センターれいんぼう 藤宮 祐憲

(社福) さわらび福祉会 甲賀・湖南ひきごもり支援『奏』 山崎 秀樹

(社福) かすみ会 かいぜ寮 柚木 将敬

(社福) 青い鳥会 彦根学園 廣田 佑一郎

(社福) たかしま会 藤美寮 杉原 清美

③国研修参加者の派遣調整

国研修参加者の調整を行った。研修参加者には研修講師、研修企画等を担当いただいた。

研修参加者 3人 (湖東圏域 1人、湖東圏域 1人、高島圏域 1人)

(7) 民生委員児童委員研修の実施

①民生委員・児童委員新任研修

開催日 令和元年 12月 9日 (月)、11日 (水)、12日 (木)、13日 (金)、18日 (水)、19日 (木)

会 場 長浜文化芸術会館 (9日)

五箇荘コミュニティセンター (11日)

長寿社会福祉センター (12日)

碧水ホール (13日)

ふじのきホール（13日）
豊栄のさと（18日）
長寿社会福祉センター（19日）

参加者 1,490人

内 容 講義「相談技法入門」

福井県立大学 看護福祉学部 社会福祉学科 教授 吉弘 淳一
大谷大学 文学部 教育・心理学科 教授 安田 誠人
太成学院大学 人間学部 講師 新川 朋子

②中堅民生委員・児童委員研修

開催日 令和元年8月5日（月）

会 場 センター

参加者 257人

内 容 講義「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」について

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課

講義「自分の人生だからこそ自分らしく生きたいねん」

オフィスゆうき 中川 佑希

報告「平成30年7月豪雨における支援活動」

日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦

報告「平成30年7月豪雨における民生委員児童委員活動と今後について」

岡山県倉敷市真備東地区 民生委員児童委員協議会 会長 浅野 静子

対談

日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦

岡山県倉敷市真備東地区 民生委員児童委員協議会 会長 浅野 静子

③民生委員・児童委員指導者（会長）研修

開催日 令和2年1月30日（木）

会 場 県立男女共同参画センター

参加者 138人

内 容 講義・実践報告・鼎談「地域における生活問題と民生委員児童委員の役割」

大谷大学 社会学部 教授 志藤 修史

草津市草津学区民生委員児童委員協議会 前会長 中村 陽子

彦根市城北民生委員児童委員協議会 会長 瀧波 博之

意見交換会

④主任児童委員研修

<新任委員向け>

開催日 令和2年1月29日（水）

会 場 県立男女共同参画センター

内 容 講義「主任児童委員の役割と地域づくり」～地域で子どもと家族を見守るということ～

龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 土田 美世子

実践報告①「子どもの健やかな育ちを見守り支えるために」

大津市木戸学区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 中井 洋子

実践報告②「学校と地域の連携」

特定非営利活動法人あめんど 代表 恒松 瞳美

グループワーク

参加者 103 人

<再任委員向け>

開催日 令和2年2月5日（水）

会 場 センター

参加者 137 人

内 容 講義「子育て支援と地域」

龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 教授 山田 容

ワールドカフェ

出会い食堂♥よっといで～♥ 杉山 泰子

フリースペースカーサ 日比、晴久

スクールソーシャルワーカー 日野 貴博

NPO 法人やんちゃ寺 佐藤 すみれ

鹿深の家 春田 真樹

NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク・しが 松村 瞳子

子育てカフェ LOCO 宮本 麻里

滋賀県発達障害者支援センター 巽 亮太

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 岩脇 俊博

大津市福祉子ども部家庭相談室 中島 円実

滋賀県人権センター 樋口 孔司

NPO 法人 CASN 谷口 久美子

⑤民生委員・児童委員人権研修

開催日 令和元年6月26日（水）

会 場 センター

参加者 230 人

内 容 講義「人権感覚を磨く」

滋賀県人権センター 人権啓発担当 樋口 孔司

講義「多文化共生～多国籍住民への支援活動から～」

SHIPS 多文化共生支援センター 所長 喜久川 修

⑥民生委員児童委員テーマ研修会

開催日 令和元年10月24日（木）

会 場 センター

参加者 223 人

内 容 報告「ひきこもりに関するアンケート調査について」

対談・講義「ひきこもりがちな人とその家族の理解～地域の見守り・かかわり～」

社会福祉法人さわらび福祉会

総合施設長 山崎 秀樹

甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』主任相談支援員 北出 篤嗣、利用者

(8) 男性保育者のプロジェクト企画推進（滋賀県保育者協議会との共働）

男性保育者を中心として、福祉の仕事の魅力発信やつながりをもてるよう検討するため、企画会議を1回行った。

<レイカディア振興課>

1 レイカディア大学卒業生等「地域の担い手」5,000人のストーリー発信

中高年者の生きがい・役割づくり・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報および健康に関する情報を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりの意識を高めた。

(1) 情報誌「レイカディア通信」の発行

- ① 発行日 令和元年7月25日
発行部数 3,600部
内容 「シニアの創作活動の世界」
- ② 発行日 令和元年10月25日
発行部数 3,600部
内容 「シニアが伝える滋賀の魅力」
- ③ 発行日 令和2年1月25日
発行部数 3,600部
内容 「ねんりんピック和歌山大会～滋賀県特集～」

(2) 卒業生による「びわこシニアネットホームページ」の運営・充実

- ・シニアITボランティアによるホームページの更新
毎週月・木曜日 9:00～16:00
- ・シニアお役立ち集、レイカディア大学、ねんりんピック・シルバー作品展、リンク集、お問合せのメニューページの更新
- ・びわこシニアネットアクセス件数
7,693件(年間) 21.08件(1日平均)

【成 果】

情報誌「レイカディア通信」は、今年度も人に焦点を当て、健康で生きいきと活動を続けているシニアの姿を紹介することによって、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進に寄与することができた。また、「びわこシニアネット」では、中高年者の社会活動や仲間づくり、豊かなシニアライフ等の有益な情報の発信を行ってきた。さらに、ホームページの更新作業については、シニアITボランティアが行い、卒業生シニアの活躍の場とすることができた。

2 レイカディア大学の充実、生涯現役レイカディア人材の活動の場づくり

高齢者に健康と生きがいづくりのための実践的な知識や教養、技能を修得する学習機会を提供し、県内の高齢者の自立と地域貢献に寄与するようレイカディア大学を運営した。

(1) レイカディア大学の運営

【修業年限】 2年間

【入学資格】 現に県内に居住する満60歳以上の者で、大学設置の趣旨を理解し、学習意欲に富み、通学および各種講義に出席しうる健康を有する者。

【授業料】 年間 50,000円(前期・後期 各25,000円)

【学習内容・時間】 対象期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日

※ 令和2年3月2日から3月31日まで、新型コロナウィルス感染症の影響により臨時休校。実施予定の講座等は4月以降に振替え。

◆必修講座

学習領域	主な学習内容	学習時間(実績)	
		※4月以降振替講座(外数)	
		1年	2年
人間理解	福祉、人権、健康、保健、安全、仲間づくり、家族	[草津校] 100時間(25日) [米原校] 104時間(26日)	[草津校] 100時間(25日)[米原校] 104時間(26日)
郷土理解	自然、歴史、文化、芸術、自然保護、環境保全、街づくり、地域振興
社会参加	政治、経済、社会、国際理解、生涯学習、ボランティア(地域活動体験学習等)、自己実現	※ [草津校] 16時間(4日) ※ [米原校] 12時間(3日)	※ [草津校] 12時間(3日) ※ [米原校] 8時間(2日)
学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニュースポーツ大会、大学祭、自主活動、ボランティアの日

◆選択講座

学習領域	主な学習内容	学習時間(実績)			
		※4月以降振替講座(外数)	1年	2年	合計
園芸学科 [草津校] [米原校]	庭木・果樹の作り方、土壤・施肥管理、剪定、野菜・山野草の育て方、寄せ植え、その他	[草津校] 80時間×2クラス [米原校] 76時間 ※ [草津校] 8時間×2クラス ※ [米原校] 12時間	[草津校] 76時間×2クラス [米原校] 80時間 ※ [草津校] 12時間×2クラス ※ [米原校] 8時間	468時間 (117日) ※ 60時間 (15日)
陶芸学科 [草津校]	作陶、素焼、施釉、本焼、陶芸の科学・歴史、その他	84時間 ※ 4時間	84時間 ※ 4時間	168時間(42日) ※ 8時間(2日)
びわこ環境学科 [草津校]	自然の姿・仕組み、環境汚染、環境に優しい暮らし(ゴミの軽減化、エコ生活等)、水質保全、里山保全、その他	80時間 ※ 8時間	80時間 ※ 8時間	160時間(40日) ※ 16時間(4日)
地域文化学科 [草津校]	近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	80時間 ※ 8時間	80時間 ※ 8時間	160時間(40日) ※ 16時間(4日)
北近江文化学科 [米原校]	北近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44時間 ※半年のみ	80時間 ※ 8時間	124時間(31日) ※ 8時間(2日)

健康づくり 学科 [草津校] [米原校]	高齢期の症状理解、老化予防、健康維持・増進（栄養、生活習慣、趣味と健康、レクリエーション等）その他	[草津校] 76時間 [米原校] 80時間 ※ [草津校] 12時間 ※ [米原校] 8時間	[草津校] 80時間 [米原校] 76時間 ※ [草津校] 8時間 ※ [米原校] 12時間	312時間（78日） ※40時間(10日)
合 計		680時間 (170日) ※ 68時間 (17日)	712時間 (178日) ※ 80時間 (20日)	1,392時間 (348日) ※ 148時間 (37日)

【学生数】

(令和2年3月末現在)

学 科 人	草津校		米原校		合 計
	41期生	42期生	41期生	42期生	
園芸学科	45 (3)	49 (1)	22 (1)	26 (2)	142 (6)
陶芸学科	17 (8)	28 (2)	—	—	45 (10)
びわこ環境学科	12 (2)	19 (2)	—	—	31 (4)
地域文化学科	21 (4)	28 (4)	—	—	49 (4)
北近江文化学科	—	—	12	—	12 (0)
健康づくり学科	18 (2)	19 (2)	8	11 (2)	56 (4)
合 計	113 (10)	143 (13)	42 (1)	37 (4)	335 (28)

※ 下段（ ）は、リカレントコース履修生数。内数

※ 40期生：令和元年9月12日卒業 165人（草津校111人、米原校54人）

【学生募集・入学状況（42期生）】

(令和2年10月)

	草津校	米原校	計
定 員	145人	70人	215人
応 募 者	141人	38人	179人
入 学 者	132人	34人	166人
定員充足率	91.0%	48.6%	77.2%

※ リカレントコース履修生を除く

【リカレントコース】

卒業生の学び直しニーズに対応し、卒業生を対象とした卒業学科以外の学科への入学を

可能とするリカレントコースを設置し運用を開始した。

入学者数 41期生 12人、42期生 18人

授業料 ア) 選択講座のみ受講 年間 30,000円 (前期・後期各 15,000円)

イ) 必修・選択講座受講 年間 40,000円 (前期・後期各 20,000円)

①地域活動体験学習・課題学習

地域活動体験学習では、在学中に地域活動（ボランティア活動）を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らがつくり、地域の人々と共に課題に取り組む力を身につけた。

課題学習では、学生自らが課題を見い出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、卒業後の活動へつなげた。

※ 地域活動体験学習報告会

草津校で開催した報告会には、地域活動体験学習に協力いただいた市町行政や市町社協の方を招待し、報告会を実施した。

開催日 令和元年 7月 5日 (金)

会場 センター

②大学祭

日頃の学びを発表・実践することを通じて、学習効果をより一層深めるとともに、卒業生や地域との交流を行った。

[草津校] 開催日 令和元年 7月 31日 (水) ~ 8月 2日 (金)

会場 センター

来場者数 713名

[米原校] 開催日 令和元年 7月 24日 (水) ~ 7月 26日 (金)

会場 県立文化産業交流会館

来場者数 480人

③ボランティアの日

実践的な地域活動につながるよう学年単位でボランティア活動の企画運営を学生自らが行った。草津校は例年前期（3月）に、米原校は後期（5月、6月）に実施した。

[草津校] 41期・42期

開催日 令和2年3月に予定していたが、臨時休校のため4月以降に振替え

会場（予定） センター、びわこ文化公園

内容（予定） 講義：「ボランティア活動について」

「県営公園管理事業について」

活動：落葉収集、運搬集積等

[米原校] 40期 開催日 令和元年 6月 7日 (金)

会場 びわこ地球市民の森

内容 講話、竹細工作業、森の観察

41期 開催日 令和元年 5月 24日 (金)

会場 八幡公園、近江八幡図書館

内容 ツツジ整備作業、レクリエーション体験

④公開講座・学校見学

必修講座、選択講座の一部を一般に公開し、レイカディア大学で学ぶ楽しさや喜びを体験できる公開講座を実施した。また、本学への理解を深められるよう年間を通して実際の授業の様子や学習環境等を見学できる学校見学を実施した。

校	講座	開催日	受講者数	内 容
草津校	選択講座	6月17日	12名	健康と運動2 「膝や腰の痛みのメカニズムや原因を知ろう」 健康運動指導士 中原 今日子
		7月1日	10名	球根と宿根草の育て方ハンギングバスケットつくり フラワーアレンジメント講師 水島 たず子
		7月9日	7名	作陶 自由作品 京都工芸織維大学非常勤講師 谷野 明夫
		7月10日	7名	びわ湖における「文化」の意味 びわこトラスト理事 西本 椰枝
		7月16日	12名	童門 冬二「小説 中江藤樹」 びわこトラスト理事 西本 椰枝
	必修講座	6月13日	12名	明智光秀と織田信長～光秀は近江を欲した～ 滋賀県文化財保護協会 大沼 芳幸
		7月18日	10名	高齢期をもっと豊かな時期にするために 滋賀大学教授 神部 純一
		1月17日	23名	びわ湖のおいたちとそこにいた太古の動物たち 滋賀県立琵琶湖博物館館長 高橋 啓一
米原校	選択講座	6月18日	6名	盆栽の育て方と増やし方、挿し木・取り木・接ぎ木のやり方 能登川盆栽同好会会长 大辻敏雄
		7月2日	0名	農書について学ぶ 江戸期の農書を読む 滋賀民族学会理事 粕渕 宏昭
		7月5日	2名	健康と運動 健康運動指導士 井花 春美
	必修講座	6月21日	32名	里山の今とこれから～伐って使って獣害を防ごう～ 滋賀県立大学准教授 野間 直彦
		12月19日	53名	明智光秀の生涯 長浜市市民協働部学芸専門監 太田 浩司

※ 3/27 (草津校)、3/5 (米原校) は、新型コロナウィルス感染症の影響により中止

⑤短期公開講座

広く一般を対象に、レイカディア大学の正規講座や関連事業に対応した人気のテーマ等の講座を数回コースで開講した。レイカディア大学を身近に感じてもらい、認知度向上や入学志願者の獲得、各事業との相乗効果を図った。

ア) 古都古都ウォーク

開催日 令和2年2月20日(木)、2月27日(木)※、3月5日(木)※(3回)

※ 2/27、3/5 は、新型コロナウィルス感染症の影響により中止

会 場 大津市歴史博物館、坂本地区(膳所地区、石山地区は中止)

内 容 県内の歴史学習、名所探訪

参加者数 22人(2/20)

イ) シルバー作品展出品準備写真講座

開催日 令和2年2月19日(水)、2月26日(水)(2回コース)

会 場 センター、近隣地域

内 容 写真の基礎知識と撮影のポイント、写真を作品に仕上げるコツ

参加者数 44人

(2) 滋賀県レイカディア大学サポートの会との協働

レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポートの会と協働し、より良い大学運営を推進した。

具体的には学生募集・大学祭の支援、学生対象初心者パソコン講座の実施、レイカディア大学ホームページの運用管理、レイカディアだより、サポートの会通信の発行と配布、選択講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポートを実施した。

(3) レイカディア大学懇話会の開催

レイカディア大学の運営に関する事項について、学識経験者、関係団体、行政機関から幅広い意見を受けた。

開催日 令和元年8月5日（月）10:00～12:00

会 場 センター

参加者 10人

内 容 • レイカディア大学42期の学科開設について
• レイカディア大学のカリキュラムの見直しについて

(4) レイカディア大学あり方検討会の開催

社会や人の価値観が大きく変化するなか、レイカディア大学の今後のあり方について多角的に検討するため「レイカディア大学あり方検討会」を設置し、集中的な議論を経て、提言書を取りまとめた。

開催日 令和元年12月26日（木）、令和2年2月27日（木）

会 場 センター等

委 員 6人

内 容 • レイカディア大学の現状、取り巻く環境、期待、他大学の状況
• レイカディア大学の今後のあり方についての具体的な検討
• 提言書の取りまとめ

提 言 5つの視点（いつでも学べる、楽しく学べる、ともに学べる、気軽に学べる、三方よしを学べる）から、16項目（入学資格・履修期間、カリキュラム・授業運営、開かれた大学等）の提言

【成 果】

レイカディア大学の運営においては、知識・教養、技能のほか、実践的な地域活動につながるカリキュラムを配置することにより、卒業後の地域活動の担い手育成につなげることができた。また、広く一般に公開した公開講座や新たに設けた短期公開講座では、受講者から好評を得ることができ、県民にレイカディア大学での学びを体験してもらうとともに、学習の興味を喚起することができた。

さらに、レイカディア大学あり方検討会から今後のあり方の提言を受け、大学の再編に向け具体的に検討を進める契機を得た。

3 高齢者の健康と生きがいづくりの推進

高齢者のスポーツ・文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが地域活動に参画することにより、健康や生きがいづくりに対する意識の高揚を図るとともに地域間・世代間の交流促進、社会参加の拡大を推進した。

(1) シルバー作品展事業

① 滋賀県シルバー作品展の開催

・出品全作品の展示

開催日 令和元年5月28日(火)～6月2日(日)

会 場 県立文化産業交流会館 イベントホール

・入賞(佳作を除く)作品の展示

開催日 令和元年6月4日(火)～6月9日(日)

会 場 イオンモール草津 イオンホール

・来場者 1,822人

【作品出展数】

部門	出展数	推奨 (全国大会出展)	特選	後援 団体賞	佳作	かいづ ぶり賞	最高齢 者賞
日本画	23	2	1	2	4	1	
洋画	67	2	3	4	12	1	
彫刻	3	2	—	1	—	1	
工芸	28	2	2	2	3	1	
書	44	2	3	3	11		1
写真	98	2	3	3	15	1	
合計	263	12	12	15	45	5	1

※全国健康福祉祭和歌山大会において、出品12作品のうち2作品が入賞しました。

(2) スポーツ等交流大会開催事業

① ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会スポーツ等交流大会の開催

【スポーツ等交流大会】

種 目	開 催 日	会 場
卓 球	4月28日	安曇川総合体育館
テニス	4月19日	県立希望が丘文化公園テニスコート
ソフトテニス	5月5日	県立長浜ドーム
ソフトボール	4月20日、27日	大津市 和邇市民運動広場
ゲートボール	5月8日～10日	南部：野洲川運動公園 北部：スパーク山東
ペタンク	5月17日	大津市 和邇市民運動広場
三世代交流マラソン	11月10日	近江八幡市立運動公園周辺、水郷周辺コース
弓 道	5月19日	彦根市営弓道場
剣 道	6月2日	滋賀県立武道館
ボウリング	4月28日	栗東ボウリング・ジム
グラウンド・ゴルフ	8月1日～9月30日 10月19日	希望が丘文化公園GG場他

太極拳	8月25日	八日市文化芸術会館
ソフトバレーボール	4月21日	甲賀市水口体育館
サッカー	4月13日	ピックレイク（守山市）
水泳	5月12日	県立障害者福祉センター
ウォークラリー	5月26日	大津市内
ラグビーフットボール	毎週土曜日練習	東レ周山グラウンド
ゴルフ	10月16日 11月12日	大甲賀カントリー倶楽部 甲賀カントリー倶楽部
オリエンテーリング	6月15日(荒天中止)	なぎさ公園一帯

【文化等交流大会】

種 目	開 催 日	会 場
囲碁	4月27日	彦根東高校第2別館
将棋	4月7日	コミュニティーセンターやす
健康マージャン	5月19日	Viva City 彦根 研修室第1・2
俳句	10月26日	太田酒造所「道灌蔵」

【びわこ交流大会】

種 目	開 催 日	会 場
ボート	5月25日	県立琵琶湖漕艇場

② 次年度ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会スポーツ等交流大会説明会の開催

開催日 令和2年2月1日（土）

会 場 県立長寿社会福祉センター

参加者 15人

(3) 全国健康福祉祭選手派遣事業

① 滋賀県選手結団式・全体説明会

開催日 令和元年10月15日（火）

会 場 県立長寿社会福祉センター

参加者 115人

② 第32回全国健康福祉祭 和歌山大会

開催日 令和元年11月9日（土）～12日（火）

開催地 和歌山市ほか（21市町）

派遣種目 卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、マラソン、ゴルフ、弓道、剣道、グラウンドゴルフ、太極拳、ソフトバレー、ウォークラリー、サッカー、水泳、ダンススポーツ、合気道、民謡、囲碁、将棋、健康マージャン ボウリング（23種目）

派遣人員 146人（役員を除く）

【成 果】

滋賀県シルバー作品展、スポーツ等交流大会へは多くの高齢者が参加し、その中から選抜された選手や優秀作品が全国健康福祉祭においても活躍するなど、健康づくりや生きがいづくりの推進に寄与することができた。

4 長寿社会づくりに関する調査および研究の実施

今年度は調査を実施していないが、次年度の実施に向けて、過去の研究テーマの整理と今後の研究テーマの抽出を行った。

【人材部門】

<介護・福祉人材センター>

1 「滋賀の福祉人」の確保

(1) 現場職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽 CAFE」の開催

・介護・福祉職場の職員と学生等との交流「ふく・楽 CAFE」を開催し、学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの魅力を実感し、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、進路選択の参考、働く意欲の高揚を図った。

①高校での「ふく・楽 CAFE」

センター区分	開催日	高校名	学年 人数	講 師
南部	令和元年 7月 16 日 (火)	守山高校	1年 10人	(社福) 慈恵会 介護・福祉人材センター
	9月 10 日 (火)	綾羽高校	2年 25人	(社福) 若竹会 (社福) 守山市社会福祉協議会 草津市草津地域包括支援センター
	9月 25 日 (水)	能登川高校	2年 9人	(社福) 真寿会 介護・福祉人材センター
	令和2年 2月 17 日 (月)	八幡高校	2年 30人	(社福) 小羊会
湖北	令和元年 12月 12 日 (木)	愛知高校	2年 14人	介護・福祉人材センター
	令和2年 2月 19 日 (水)	彦根総合高校	2年 10人	(社福) 近江ふるさと会
合 計			98人	

②大学等での「ふく・楽 CAFE」

センター区分	開催日	会 場	参加者数	参加者
南部	令和元年 6月 6 日 (木)	びわこ学院大学短期 大学部	37人	介護福祉コース 1・2回生
	6月 18 日 (火)	ルネス紅葉スポーツ 柔整専門学校	35人	スポーツ健康科 2年生
	6月 26 日 (水)	龍谷大学 瀬田キャンパス	12人	社会学部現代福祉学科 1, 3, 4回生
	6月 27 日 (木)	介護労働安定センタ 一滋賀支所	20人	実務者研修受講生
	11月 12 日 (火)	介護労働安定センタ 一滋賀支所	20人	実務者研修受講生
	12月 11 日 (水)	龍谷大学 瀬田キャンパス	6人	社会学部現代福祉学科 1～3回生

	令和2年 2月 10日(月)	介護労働安定センタ 一滋賀支所	5人	初任者研修受講生
湖北	令和元年 6月 24日(月)	聖泉大学	0	【流会】
	11月 16日(土) 17日(日)	聖泉大学 (学園祭出展)	12人	学生・地域住民
	12月 16日(月)	滋賀文教短期大学	15人	国文学科1回生
合 計			162人	

③地域での「ふく・楽CAFE」(湖北の取組)

開催日	会 場	参加者数	備考
令和元年 6月 27日(木)	ビバシティホール	8人	「湖東圏域福祉の職場説明会」(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町主催)との共催事業
8月 23日(金)	長浜市民交流センター	6人	「福祉の就職フェア in 長浜・米原」(長浜市・米原市主催)との共催事業
11月 8日(金)	ビバシティホール	6人	「湖東圏域福祉の職場説明会」(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町主催)との共催事業
令和2年 1月 24日(金)	長浜ビジネスサポートセンター	10人	「女性の働く応援プロジェクト「おしごとフェスタ」」(長浜市地域活性化雇用推進協議会主催)で同日開催 同時に出張相談も実施(5名相談)
合 計		30人	

(2) 福祉職場へのインターンシップ等の実施

①高校生向け「職場体験」

・高校生を対象に、介護・福祉職場での体験を通して、具体的な仕事の内容、魅力ややりがい、実際の職場の雰囲気などを知つてもらうことにより、介護・福祉分野への理解を深めるとともに、介護・福祉分野への進路選択の意欲を高める契機とすることを目的として実施した。

体験受入登録事業所数	131事業所(高齢118、障害13)
体験実施期間	令和元年5月15日(水)～令和2年3月13日(金)
体験者数	13人(南部12名、湖北1名)

②社会人向け「トライ・ジョブ」

・介護・福祉の仕事に関心のある方に職場の雰囲気や仕事内容を知つてもらう機会を提供し、就労意欲を喚起するとともに、体験終了時にはセンター職員が同席して体験の振り返りを行い、体験での気づきや今後の希望等を確認の上、就労希望者には継続的な支援を行った。

体験受入登録事業所数	142事業所(高齢127、障害15)
体験実施期間	令和元年5月15日(水)～令和2年3月13日(金)
体験者数	23人(南部15人、湖北8人)
うち就職者	12人(南部11人、湖北1人)

(3) 福祉職場見学ツアーの開催

- ・学生を対象に、見学施設先の若手職員がナビゲーターとなって、福祉の職場で「はたらく」ことのやりがいや魅力を伝え、関心・共感の広がりや深化を図り、福祉職場への就職につなげることを目的に、甲賀地域をモデルとして初めて開催した。

開催日 令和元年8月7日(水)

参加者 15名(びわこ学院大学、同短期大学部、花園大学、同志社大学大学院、佛教大学)

行程 JR草津駅西口集合(9:30)

(社福) 瑠璃光会「かがやき」見学

(社福) 近江和順会「特別養護老人ホームヴィラ十二坊」

「小規模特別養護老人ホーム百伝の杜」見学

(社福) 椎の木会「落穂寮」見学

JR草津駅西口 解散(17:15)

(4) カイゴとフクシ就職フェアの開催

介護・福祉職場と求職者とのマッチングの場として「カイゴとフクシ就職フェア」を開催した。

開催日	会場	出展 法人 数	来場者数		5法人 以上 回った 来場者 数	1法人 あたり ブース 訪問者 数 (平均)	採用者数	
			学生	社会人			学生	社会人
6/1(土)	ビバシティ彦根	26	68	17	51	40 (58.8%)	10.7 (14.7%)	4 (23.5%)
6/16(日)	コラボしが21	25	82	25	57	59 (72.0%)	14.6 (8.5%)	5 (20.0%)
7/6(土)	コラボしが21	25	54	16	38	35 (64.8%)	8.9 (16.7%)	6 (37.5%)
7/7(日)	コラボしが21	25	45	13	32	29 (64.4%)	7.5 (8.9%)	3 (23.1%)
小計		101	249	71	178	163 (65.5%)	10.4 (12.0%)	18 (25.4%)
9/8(日)	ビバシティ彦根	25	67	20	47	44 (65.7%)	11.3 (13.4%)	3 (15.0%)
9/28(土)	草津市立まちづくりセンター	25	84	30	54	63 (75.0%)	14.8 (11.9%)	4 (13.3%)
10/19(土)	滋賀県庁	28	88	19	69	62 (70.5%)	14.7 (11.4%)	0 (0.0%)
小計		78	239	69	170	169 (70.7%)	13.6 (12.1%)	7 (10.1%)
合計		179	488	140	348	198 (40.6%)	12.2 (12.1%)	25 (9.8%)
3/1(日)	YMITアリーナ	74	新型コロナウイルス感染拡大のため中止					
3/8(日)	ビバシティ彦根	24						
小計		98						

<フェアの内容>

出展法人リレープレゼンテーション、法人別ブース説明会、人材センター相談コーナー

(5) 介護に関する入門的研修の開催

- ・介護の基本的な知識・技術を学ぶ機会として「介護に関する入門的研修」(21時間)を初めて開催した。

(カリキュラム内容)

	時 間	内 容	
1日目	9:15~9:30		オリエンテーション
	9:30~11:00	1.5時間	①介護に関する基礎知識
	11:10~12:40	1.5時間	介護の基本
	13:30~15:30	2時間	障害の理解
2日目	10:00~16:00	10時間	基本的な介護の方法
3日目	10:00~16:00		
4日目	9:30~11:30	2時間	介護における安全確保
	12:30~16:30	4時間	認知症の理解
	16:30~16:45		修了式

(開催日程等)

区分	日程	会場	参加者数	就職者数
南部	令和元年 11月16日(土) 11月24日(日) 12月1日(日) 12月7日(土)	石部まちづくりセンター (1日目・4日目) 社会福祉法人近江ちいしば 会ぼだいじデイーサービス センター虹 (2日目・3日目)	32	1
	令和2年 2月1日(土) 2月8日(土) 2月15日(土) 2月22日(土)	県立長寿社会福祉センター	28	0
	令和2年 2月15日(土) 2月23日(日) 2月29日(土) 3月7日(土)	長浜市民交流センター (1日目・4日目) 社会福祉法人青祥会 アンタレス (2日目・3日目)	19 15	
				新型コロナウイルス感染拡大 により延期
湖北				

(6) 離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催

①届出

- ・離職の有無にかかわらず、有資格者の届出を進めるため、(一社)滋賀県介護福祉士会の協力のもと介護福祉士会会員への制度周知および届出の勧奨を図った。また、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
届出者数	262	149	120	531

②再就職支援セミナーの開催

・離職介護福祉士等届出制度による届出者等の介護職場への就労支援のため、「就職支援セミナー」を開催した。開催にあたっては、就職フェア等と同日・同会場での開催とするなど、セミナー参加者が就職フェア等にも参加し、より効果的な展開となるよう事業間連携を図った。

<第1回>

開催日 令和元年8月23日（金） ※「福祉の就職フェア in 長浜・米原」と同日開催
会 場 長浜市民交流センター
内 容 第1部「これで安心！自分の体を守る姿勢と動き」
福祉用具センター副課長 谷 佳代（作業療法士）
第2部「知っておこう！介護の職場で働くにあたっての支援制度」
介護・福祉人材センター職員
参加者 9人（うち、職場説明会参加者6人、福祉職場就職者2人）

<第2回>

開催日 令和元年9月28日（土） ※「カイゴとフクシ就職フェア」と同日開催
会 場 草津市立まちづくりセンター
内 容 第1部「腰に負担のかからない介護のポイント」
福祉用具センター副課長 谷 佳代（作業療法士）
第2部「知っておこう！介護の職場で働くにあたっての支援制度」
介護・福祉人材センター職員
参加者 20人（うち、就職フェア参加者9人、福祉職場就職者6人）

<第3回>

開催日 令和元年12月10日（火）
会 場 えきまちテラス 子育て応援カフェLOCO
内 容 第1部「覚えておきたい！腰を守る介護方法」
福祉用具センター副課長 谷 佳代（作業療法士）
第2部「知っておこう！介護の職場で働くにあたっての支援制度」
第3部「福祉の仕事についてなんでも相談～知ってみよう！福祉職場の世界～」
2部・3部は、介護・福祉人材センター職員
参加者 12人

<第4回> ※新型コロナウイルス感染拡大により中止

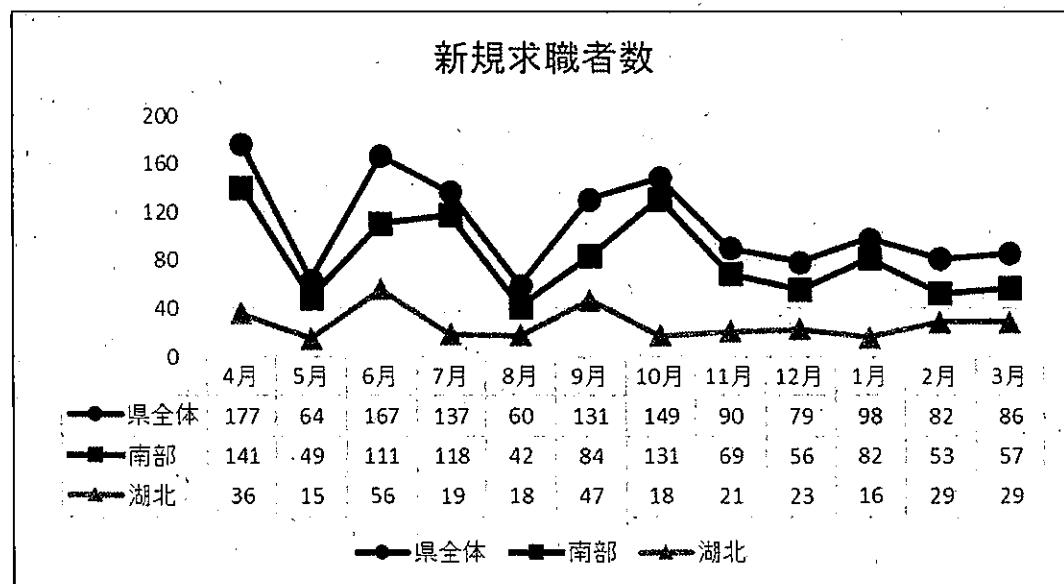
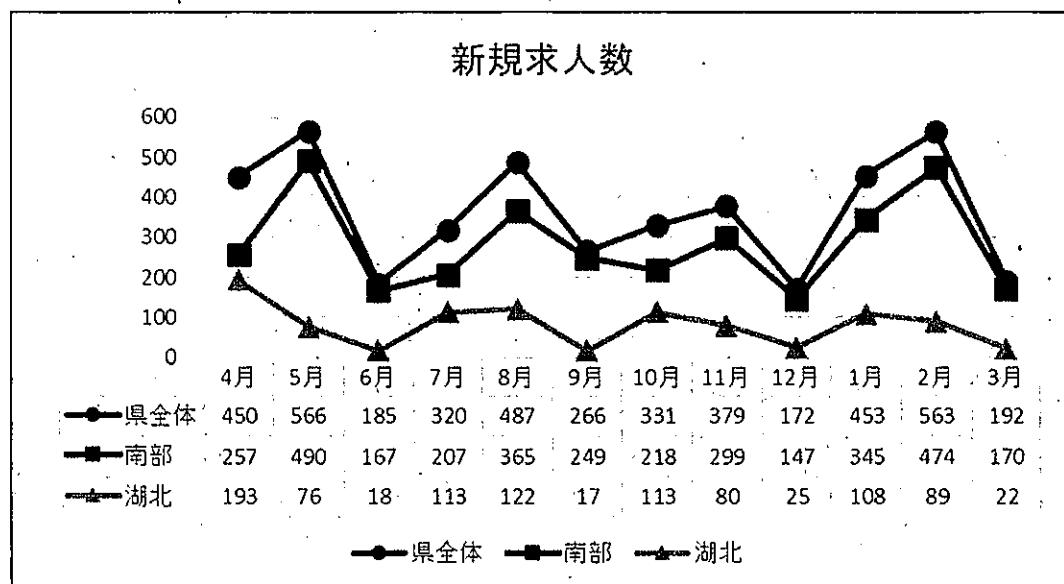
開催日 令和2年3月1日（日） ※「カイゴとフクシ就職フェア」と同日開催
会 場 YMCAアリーナ
内 容 第1部「腰に負担のかからない介護のポイント」
福祉用具センター副課長 谷 佳代（作業療法士）
第2部「知っておこう！介護の職場で働くにあたっての支援制度」
介護・福祉人材センター職員
参加者 21人（申込数）

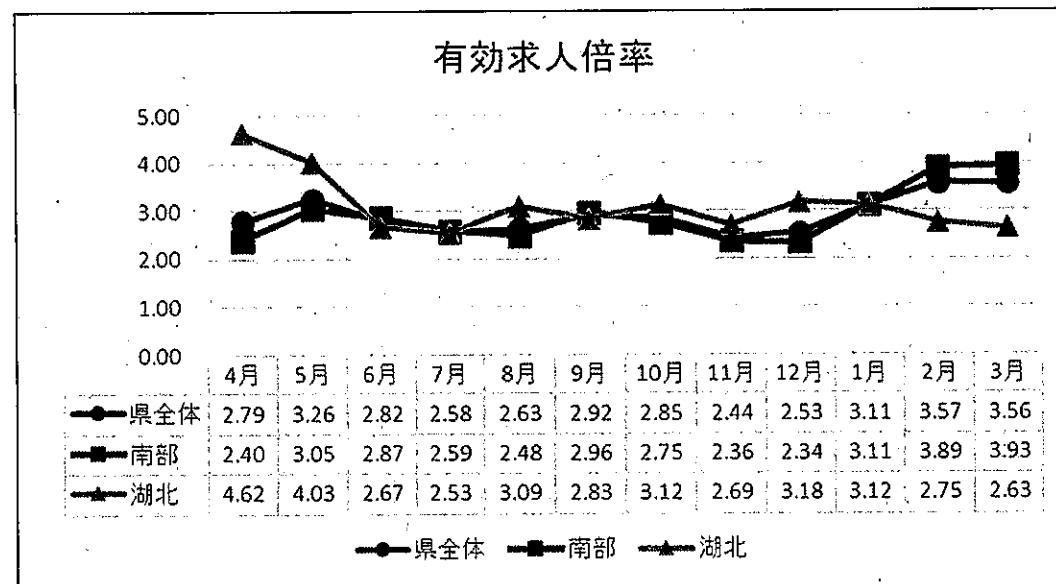
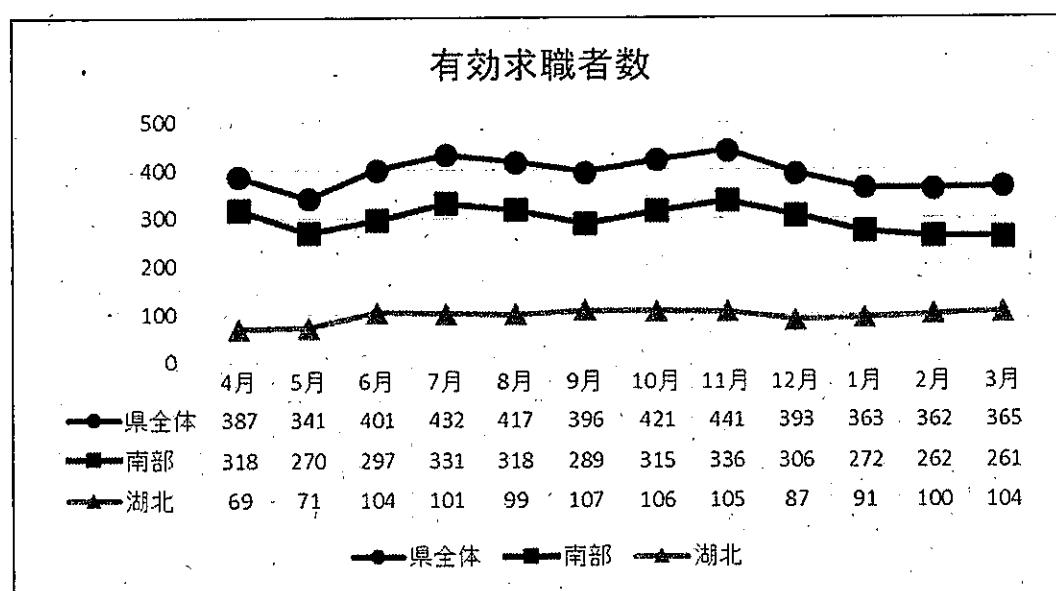
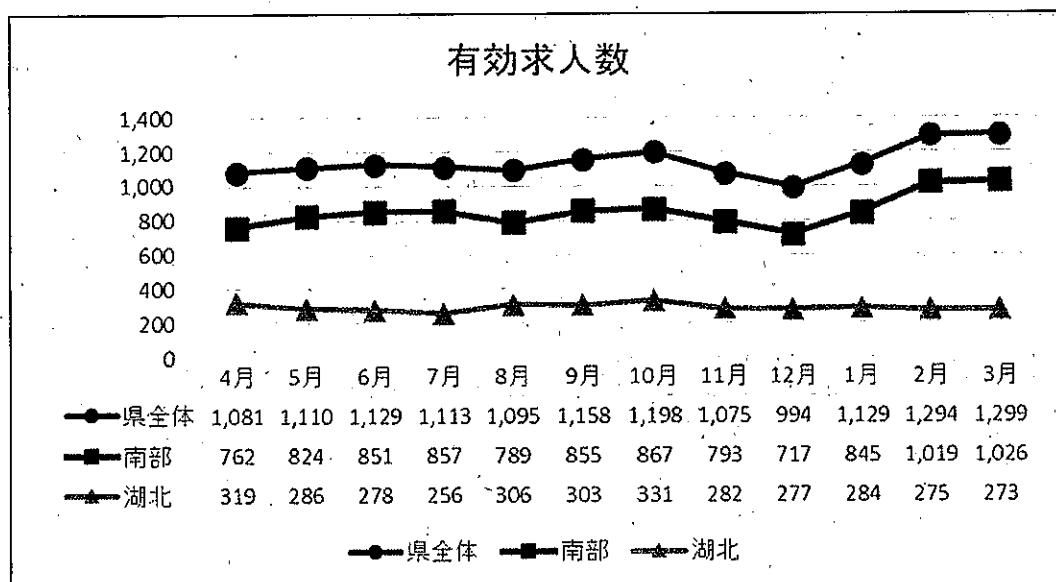
(7) 無料職業紹介事業等の実施

①概要

- ・職業安定法第33条に基づく厚生労働大臣許可のもと無料職業紹介事業を行った。

センター区分	新規求人件数 (年累計)	新規求職者数 (年累計)	有効求人件数 (年平均)	有効求職者数 (年平均)	有効求人倍率 (年平均)	紹介・応募数	紹介・応募のうち採用数	就職フェア等を通じた採用数	採用数計
南部	3,388	993	850	298	2.85	84	48	68	116
湖北	976	327	289	95	3.03	29	19	21	40
合計	4,364	1,320	1,139	393	2.90	113	67	89	156
H30	3,506	1,149	904	329	2.75	93	38	50	88





②求人情報誌の発行

- ・毎月（年12回）、最新の求人情報をまとめた求人情報誌を発行し、求職登録者やハローワーク等の関係機関に送付するとともに、マッチングの資料として活用した。

③地域へ出向いての就職活動支援

ア. ハローワーク等でのガイダンス・就職説明会、出張相談の実施

- ・各圏域のハローワーク・関係機関等へ出向き、求職者へのガイダンス、出張相談を実施した。また、ハローワークにおける「介護・福祉の職場ガイダンス」終了後、2～3事業所による地域密着型の小規模な就職説明会を開催した。
- ・なお、新型コロナウイルス感染拡大により、3月のガイダンス・就職説明会、出張相談は中止した。

<介護・福祉の職場ガイダンス>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 12回	191	30	15
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 6回	52	5	2
	ハローワーク東近江	5月・偶数月第3水曜日 7回	144	7	2
	ハローワーク高島	6月、8月、10月 第1木曜日 3回	39	2	1
	しがヤングジョブパーク	毎月第3火曜日 12回	42	13	5
湖北	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日 12回	194	7	2
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 12回	249	16	5
合 計			911	80	32

<就職説明会>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 11回(5月～)	85	11	9
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 6回	54	6	1
	ハローワーク東近江	5月・偶数月第3水曜日 7回	65	2	0
	ハローワーク高島	6月、8月、10月 第1木曜日 3回	27	2	2
湖北	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 12回	22	7	0
合 計			253	28	12

<出張相談(要予約)>

センター区分	開催場所	開催時期	相談者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	シニアジョブステーション滋賀	毎月第2木曜日	9	5	2
	滋賀マザージョブステーション	原則毎月第4水曜日	4	2	0
	しがヤングジョブパーク	毎月第3火曜日	0	0	0

湖北	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日	8	5	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日	18	8	0
	木之本まちづくりセンター	6月、10月、2月 第2金曜日	1	1	0
	合 計		40	21	2

＜養成施設における就職支援＞

センター区分	養成施設名・養成コース	開催日	受講者数
南部	(有)スタック 初任者研修	6月14日(金)	5
	(公財)介護労働安定センター 実務者研修	11月7日(木)	20
	(有)スタック 初任者研修	9月20日(金)	5
	(有)スタック 実務者研修	11月8日(金)	11
	(公財)介護労働安定センター 初任者研修	12月23日(月)	5
	(有)スタック 初任者研修	2月20日(木)	15
合 計			61

イ. 関係機関との連携による地域での就職説明会等の開催等

＜滋賀労働局主催イベントへのブース出展＞

イベント名	開催日	開催場所	イベント概要	来場者数
SHIGA ハローワークデイ	令和元年 9月21日(土)	滋賀労働 総合庁舎	・お仕事体験コーナー 「介護ロボットを体験しよう！介護のお仕事なんでも相談」 (協力：大和ハウス工業) ・職業訓練ミニ体験 ・びわカンコラボ若者向け 仕事トーク＆ライブ型セミナー 等	209人

＜滋賀県看護協会主催就職フェア等での相談コーナー設置＞

センター区分	開催場所	開催日	相談者数	新規求職登録者数	採用者数
南部	クサツエストピアホテル	令和2年 2月19日(水)	3	1	0
湖北	県立文化産業交流会館	令和元年 8月6日(火)	3	1	0
合 計			6	2	0

ウ. 各市町等との就職説明会等の開催

センター区分	開催名称	開催日	会場	概要
南部	滋賀・京都・大阪 3府県共同「学内 福祉の合説&面 接対策」	令和元年 6月15日(土)	花園大学	出展法人数：15 (うち滋賀県：4) 来場者数：11
	甲賀市・湖南市 「福祉の仕事就 職フェア」	6月22日(土)	碧水ホール	出展法人数：22 来場者数：40

	高齢者の介護・看護 合同職場説明会&面接会 in おうみはちまん	10月1日(火)	県立男女共同参画センター	出展法人数：12 来場者数：41
	甲賀市・湖南市「福祉の仕事就職フェア」	11月17日(日)	サンヒルズ甲西	出展法人数：25 来場者数：34
	高島市「福祉の職場説明会」	11月17日(日)	安曇川公民館	出展法人数：15 来場者数：17
	近江八幡市「シニア向け仕事説明会&面接会」	令和2年 2月14日(金)	近江八幡市総合福祉センター	出展法人数：13 来場者数：36
	佛教大学「学内合同就職説明会」	3月10日(火)	佛教大学	【中止】
	高島市「福祉の職場説明会」	3月15日(日)	安曇川公民館	【中止】
湖北	湖東圏域「福祉の職場説明会」	令和元年 6月27日(木)	ビバシティホール	出展法人数：20 来場者数：28
	福祉の就職フェア in 長浜・米原	8月23日(金)	長浜市民交流センター	出展法人数：19 来場者数：30
	湖東圏域「福祉の職場説明会」	11月8日(月)	ビバシティホール	出展法人数：20 来場者数：24
	外国人向け介護職員初任者研修修了者事業所説明会	令和2年 2月8日(土)	長浜市立湖北福祉ステーション	長浜市社協の外国人介護職員初任者研修修了者を対象とした説明会 参加事業所：5 参加者数：11

二. 事業者向け採用活動の支援

センター区分	開催日	会場	概要
湖北	令和元年 7月1日(月)	長浜市役所	「求職者との良い出会いのために」 福祉の就職フェア in 長浜・米原での参加事業所向け事前勉強会

④福祉職場の魅力発信・啓発

ア. 人材センターホームページ、facebookによる情報発信

- ホームページとfacebookを活用し、介護・福祉の仕事の魅力、就職フェア等のイベント情報、働きたい方への求職登録や求人情報の提供、介護・福祉職場で働いている方や事業者に向けた情報など、人材確保・定着の取組を発信した。

イ. 就活応援セミナーの開催 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止

- 令和2年3月1日開催の「カイゴとフクシ就職フェア」草津会場(YM ITアリーナ)での同日開催イベントとして、学生を対象に就活応援セミナーを企画

開催日	概要	参加者数
令和2年 3月1日(日)	テーマ：「面接官の心に響く！すぐに使える！面接対策」 内容：実践的な面接対策のポイントを伝える。 講師：(株)学情 学校企画部	14人 (申込)

(8) アクティブシニアの介護・福祉職場への就労等に係る個別相談

滋賀県生涯現役促進地域連携協議会からの委託により、南部介護・福祉人材センター内に「しがアクティブシニア相談窓口」を開設し、専属の相談員（キャリアコンサルタント有資格者）が概ね 55 歳以上の方を対象に、仕事のリタイア後の生活設計や就労をはじめとする様々な社会参加に関する相談など相談者のニーズに合わせたサポートを行った。

①相談窓口対応

- ア 相談窓口開設日 令和元年 6 月 3 日（月）
 イ 開設場所 南部介護・福祉人材センター内
 ウ 受付時間 月～金曜日（祝日、年末年始除く） 9 時～17 時
 エ 延べ相談件数 314 件

分類	件数	分類	件数
今後の方向性	93	適性診断	17
就職活動方法等	83	面接結果	29
求人案件検討	49	その他	43

オ 進路決定数

分類	件数
就職決定（正規）	6 (2)
就職決定（正規以外）	39 (15)
ボランティア等	2
レイカディア大学	1
その他	1

※カッコ書きは、介護・福祉分野への決定者の内数

②セミナー・仕事説明会等での対応

協議会が開催する生涯現役セミナー&仕事説明会に参加し、個別相談に応じた。

開催日	会場	相談対応件数
令和元年 12 月 3 日（火）	滋賀県庁	4 件

(9) 介護福祉士修学資金等貸付の実施

①介護福祉士修学資金貸付

	貸付者数	貸付金額
令和元年度新規貸付	38 人 (22 人)	28, 440, 000 円
前年度からの継続貸付	32 人 (12 人)	26, 360, 000 円
合 計	70 人 (34 人)	54, 800, 000 円

※カッコ内は、外国人留学生の内数

<令和元年度新規貸付者内訳>

養成施設名	人数	養成施設名	人数
びわこ学院大学短期大学部	6 (0)	関西学研医療福祉学院	1 (0)
華頂社会福祉専門学校	17 (16)	専門学校岡山ビジネスカレッジ	3 (3)
京都医療福祉専門学校	7 (0)	北大阪福祉専門学校	3 (3)
京都福祉専門学校	1 (0)	計	38 (22)

※カッコ内は、外国人留学生の内数

②介護福祉士実務者研修受講資金貸付

貸付者数：152人（23,332,705円）

③介護職員再就職準備金貸付

貸付者数：7人（1,400,000円）

2 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1) 新入職員の定着支援

①実行委員会形式による合同入職式の開催

開催日	令和元年5月20日(月)
会場	琵琶湖ホテル
内容	第1部 式典 実行委員会代表者挨拶、知事メッセージ、入職者代表メッセージ 第2部 講演&交流会 「楽しく身につけよう！コミュニケーション力UP実践術」 講師：松尾やよい（夢こらば主宰）
参加者数	62人
実行委員会 (11団体)	滋賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県ホームヘルパー協議会、特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護福祉士養成施設協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県

②フォローアップ研修・交流会（半年後）の開催

開催日	南部会場 令和元年10月9日(水) 湖北会場 令和元年10月1日(火)
会場	南部会場 トラットリア・デラメール（草津市） 湖北会場 北ビワコホテル グラツェ（長浜市）
内容	第1部 研修会 内容：ワークショップ「半年間を振り返ろう！～これからを働きやすく、楽しく働いていくために～」 講師：松尾 やよい（夢こらば主宰） 第2部 交流会
参加者数	南部会場 34人 湖北会場 9人

③フォローアップ研修・交流会（1年後）の開催

開催日	南部会場 令和2年2月6日(木) 湖北会場 令和2年2月21日(金)
会場	南部会場 ホテルボストンプラザ草津びわ湖（草津市） 湖北会場 マリアージュ彦根（彦根市）
内容	第1部 研修会 内容：ワークショップ「仲間とともに考え、2年目に進もう！～課題の共有、ともに乗り越え、つながりを深めよう～」 講師：松尾 やよい（夢こらば主宰） 第2部 交流会
参加者数	南部会場 31人 湖北会場 18人

(2) メンターの育成を通じた新入職員の定着支援

コース	参加者数	内容
基礎	25人 (19事業所)	メンター制度導入に向け、意義や進め方を学ぶ。 (講師) 幸重社会福祉士事務所 代表 幸重 忠孝 ・育成研修(平成31年4月19日(金)、26日(金))
定着支援	15人 (13事業所)	1年間を通したプログラムを通じ、メンターを育成する。 (講師) 幸重 忠孝(幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修(平成31年4月19日(金)、26日(金)) ・フォローアップ研修(令和元年8月26日(月)) ・成果報告会(令和2年2月28日(金)) ・支援員による巡回相談(年2回)

(3) キャリア・ライフ電話相談の実施

- 介護・福祉職場職員からの職場の人間関係等の悩み、スキルアップ、キャリア・デザイン、ワーク・ライフ・バランスなどに関する電話相談等を実施した。

実施期間 平成31年4月1日(月)～令和2年3月31日(火)

月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 10時～16時

実施方法 電話相談(必要に応じ面接相談)

相談件数 14件

分類	件数	件数	
1. 職場内人間関係	2	4. 資格取得等のスキルアップ	2
2. ワーク・ライフ・バランス	0	5. 支援技術等ノウハウ	0
3. 職場のストレス(1以外)	1	6. その他	9

(4) 出前講座(無料講師派遣)の実施

- 職場内研修支援事業として、滋賀県介護福祉士会及び滋賀県社会福祉士会等と連携し、無料講師派遣を実施した。

派遣依頼受付数 62件 無料講師派遣数 58件 キャンセル等 4件

<研修テーマ内訳>

分類	件数	分類	件数
リスクマネジメント	7	権利擁護・意思決定支援	18
認知症の方の具体的対応	7	対人支援の記録・アセスメント	10
福祉用具と介護技術	4	コミュニケーション・接遇	4
働きやすい職場づくり	4	その他	4

(5) 職場内研修支援事業の実施

- 職場内研修支援事業として、登録講師制度を実施し、講師を紹介した。

登録講師: 8名・相談件数: 9件 ⇒ 登録講師派遣回数: 9件

<研修講師紹介相談に関する研修テーマ内訳>

分類	件数	分類	件数
接遇・マナー	5	レクレーション	3
障害の理解	1		

<社会福祉研修センター>

1 滋賀の福祉人研修

「滋賀の福祉人」に込めた意味

滋賀の福祉人に込めた意味は、滋賀の福祉現場で働く人たちが持つてほしいアイデンティティーとビジョンです。

支援者としての価値と倫理観を日々の福祉実践を通して具現化しようとする人、そして具現化した人を「滋賀の福祉人」と称する。

(研修の特徴)

○事前学習課題を設定し、学習の視点、目的意識をもって研修に参加できるようとする。

○講義とグループ演習により主体的に学習を進める。

○福祉・介護分野で働く者としてその土台となる福祉観、意味や価値について、滋賀の福祉実践者から学ぶ科目を設定する。

○研修を通して、自分自身の職業観を深めキャリアを展望することができるようになる。

(※修了者人数)

(1) えにし滋賀の福祉人研修（福祉分野共通）

新任期（原則3年未満）	4日	76人
中堅期（原則5年未満）	3日	57人
チームリーダー研修	3日	54人
管理職研修	2日	31人

(2) 介護分野で働く滋賀の福祉人研修

新任期（原則3年未満）	4日×5コース	108人
中堅期（原則5年未満）	3日	61人
チームリーダー研修	3日	72人
管理職研修	2日	31人

(3) 介護職チームリーダー養成研修の実施

(研修の特徴)

○研修内容は、①介護専門能力の実践力 ②人材育成力 ③サービスマネジメント力の3つのカテゴリーで構成し、段階的な習得も可能とした。

○専門職として論理的な思考と行動形成を狙いとして、主体的学習法(PBL problem-based learning)を取り入れた。

【平成31年度】	16日×1コース	29人
【令和元年度】	16日×2コース	39人

2 課題別研修の実施

(1) 対人支援における記録入門研修	2日	50人
(2) OJT推進リーダー研修	3日	43人
(3) 障害者虐待防止権利擁護相談担当職員研修	2日	31人
(4) 障害者虐待防止権利擁護施設従事者研修	1日×2コース	275人

3 介護福祉士資修得のための研修の実施

(1) 介護職員実務者研修通信課程スクーリング	36人
①医療的ケア演習	2日×2コース
②介護過程Ⅲ	8日×2コース

4 介護支援専門員養成研修の実施

(1) 介護支援専門員実務研修	16日×2コース	63人
(2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ（現任・更新Ⅰ）	9日×3コース	136人
(3) 介護支援専門員専門研修Ⅱ（現任・更新Ⅰ）	6日×6コース	342人
(4) 介護支援専門員更新Ⅱ・再研修	10日×1コース	175人
(5) 主任介護支援専門員養成研修	12日×1コース	101人

5 認知症関連従事者研修の実施

(1) 認知症介護基礎研修	1日×6コース	621人
(2) 認知症介護実践者研修	8日×3コース	247人
(3) 認知症介護実践リーダー研修	11日×1コース	44人
(4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	5日×1コース	6人
(5) 認知症対応型サービス事業管理者研修	2日×2コース	61人
(6) 認知症介護サービス事業開設者研修	1日×1コース	11人
(7) 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	2日×2コース	26人
(8) 権利擁護推進員（身体拘束廃止）養成研修	4日×1コース	36人
(9) 身体拘束廃止セミナー	1日×1コース	267人

【福祉用具センター】

1 福祉用具(介護ロボットを含む)を活用したケアの推進

施設・事業所等を対象に、「介護の負担軽減とケアの質の向上」をテーマに福祉用具セミナー・展示体験会を開催した。また、見守り支援機器等の介護ロボットを含む福祉用具や業務支援機器等のセミナー・相談会を企画したが参加希望が催行に足りず、以降の取り組みを中止した。

- (1) 福祉用具セミナー・展示体験会
- (2) 見守り機器展示セミナー・相談会(中止)
- (3) 排泄機器展示セミナー・相談会(中止)
- (4) 移乗支援機器展示セミナー・相談会(中止)
- (5) 介護業務支援機器展示セミナー・相談会(中止)

実施詳細については別紙「研修等実績報告書」のとおり

2 抱え上げない介護推進事業

施設・事業所を対象に、職員の腰痛予防等労働安全衛生やケアの質の向上に有効な、人力での持ち上げや引きずり等を廃した「抱え上げない介護」を推進するために、研修、出前講座、セミナー・展示体験会を開催した。

- (1) 抱え上げない介護推進セミナー
- (2) 抱え上げない介護振り返り勉強会
- (3) 抱え上げない介護リーダー研修
- (4) リフトリーダー養成研修
- (5) 抱え上げない介護出前講座

実施詳細については別紙「研修等実績報告書」のとおり

3 高齢在宅介護者への介護方法や福祉用具の情報提供・発信

高齢在宅介護者に有効な福祉用具やその活用を含めた介護方法等を伝え、介護負担の軽減等を図るため、セミナーの開催、常設展示や出前展示、ホームページ等による情報提供や発信を行った。

(1) 在宅介護セミナー

- ①介護のお仕事就職支援セミナー
開催日 令和元年8月23日(金)
会 場 長浜市民交流センター
内 容 【講義と実技】「これで安心!自分の体を守る姿勢と動き」
参加者 8名

②カイゴとフクシ就職フェア かいごのシゴト就職応援セミナー

- 開催日 令和元年9月28日(土)
会 場 草津市立まちづくりセンター
内 容 【講義と実技】「腰に負担のかからない介護のポイント」
参加者 19名

(2) 常設展示・見学受入(団体・個人)・依頼研修

①福祉用具センター展示

現在 687 点の福祉用具を展示

②展示福祉用具の試用評価および貸出等による活用

・試用評価貸出件数

分類別貸出用具件数			
入浴用品	19 件	移乗用具・リフト	73 件
トイレ用具	11 件	住宅関連	5 件
歩行支援	30 件	コミュニケーション関連	47 件
自助具	140 件	家具・手すり	2 件
衣類・靴	17 件	褥瘡予防	1 件
車いす	3 件	その他	0 件
車いす付属品	1 件	計	349 件

適合の状況(複数回答)		評価結果	
結果	評価数	結果	評価数
すべて適合	145 件	導入	81 件
本人との不適合	141 件	同じ機能を有する別の製品	63 件
介護者と不適合	14 件	見送り	129 件
使用環境と不適合	22 件	検討中	37 件
他の用具と不適合	4 件	未試用	39 件
その他	25 件	計	349 件

・研修・展示等貸出実績

借用人	研修	展示・イベント	貸出点数
福祉関係機関・団体等	31 件	6 件	387 件
福祉用具取扱い事業所等	14 件	6 件	106 件
その他(大学ほか)	0 件	2 件	12 点
計	45 件	14 件	505 点

③福祉用具展示相談会等の開催および参画(出前展示)

開催日	名称と主な内容	会場	参加者数
R1. 6. 27 (木)	湖東圏域 福祉の職場説明会 (福祉用具の展示・体験コーナー設置)	ビバシティホール (彦根市)	28 人
R1. 9. 28 (土)	じんけんフェスタしが 2019 (福祉用具の展示・体験コーナー設置)	近江八幡市文化会館 (近江八幡市)	800 人
R1. 11. 7 (木)	福祉用具セミナー・展示体験会 (セミナー・福祉用具の展示ほか) 詳細については別紙「研修等実績報告書」参照	県立長寿社会福祉センター	361 人 (関係者含む)
R1. 12. 8 (日)	令和元年度障害者週間啓発・推進事業 【啓発イベント】 (福祉用具の展示・体験コーナー設置)	イオンモール草津 レストランコート (草津市)	311 人

④福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来館者数

見学・視察（7団体）	122人	研修受講者（延べ23日）	1,099人
見学・視察〔個人〕	205人	外部依頼研修等	1,946人
来所相談	134人	その他来館者	700人
福祉用具試用貸出	234人	計	4,440人

・福祉用具センター利用者数

来館者	4,440人	来所以外の相談	187人
出前講座等	2,617人	計	7,244人

<数値目標と実績値>

■年間利用者数　目標値：5,700人　実績値：7,244人

⑤地域、団体、学校等からの依頼研修の実施

11件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
R1. 4. 24	日常生活用具の種類と特徴	県立リハビリテーションセンター	25人
R1. 8. 9	福祉用具と住宅改修の活用	県介護支援専門員連絡協議会	45人
R1. 9. 4	排泄用具と周辺動作について	県作業療法士会	25人
R1. 9. 27	日常生活用具の種類と特徴	県立リハビリテーションセンター	22人
R1. 10. 21	福祉用具の選び方・使い方	滋賀医療技術専門学校作業療法学科	20人
R1. 11. 13	快適な居住環境整備と介護	県社会就労事業振興センター	8人
R1. 11. 15	福祉用具で生活の拡大	レイカディア大学(草津校)	259人
R1. 11. 26	難病患者へのコミュニケーション	東近江介護サービス事業者協議会	26人
R1. 11. 28	福祉用具で生活の拡大	レイカディア大学(米原校)	83人
R1. 12. 6	自立支援のための福祉用具に関する理解	大津赤十字看護専門学校	14人
R1. 12. 12	自立支援のための福祉用具に関する理解	大津赤十字看護専門学校	12人

(3) 民生委員児童委員等地域リーダー・専門職への情報発信

長寿社会福祉センターで実施の民生委員児童委員を対象とした研修会、および滋賀の福祉人研修、介護支援専門員を対象とした研修、認知症介護関係研修の場において、常設・企画展示の利用促進、有効な福祉用具のデモ等を行った。

(4) HP・リーフレット等による情報発信

ホームページの活用等により、研修会・展示会・福祉用具の新製品等の情報提供などを行った。また、センターのリーフレット(1,000部)を作成し、関係機関・団体等を通じて掲示、来館者、地域リーダー、専門職等へ配布した。

(5) 「小さな福祉用具(自助具等)」出前展示貸出し

障害者・高齢者本人とその家族や地域住民に福祉用具を知り、関心を持っていただくための機会づくりとして、地域行事等に小さな福祉用具(自助具等)の貸出しを行った。

実施日	借用人	事業・イベント名	来場者数
R1. 9. 10	瀬田南学区社会福祉協議会	ふれあい会食	79人
R1. 11. 3	上田上学区自治連合会	上田上学区文化祭	500人
R1. 11. 4	吉見学区社会福祉協議会	吉見学区福祉の心を育てるつどい	350人
R1. 11. 19	りんく大津	認知症カフェ	20人
R1. 11. 23	大津市中部ブロック協議体連携会議	京町サロン結	30人
R1. 12. 8	甲賀市介護人材確保・遅着促進協議会	国ふえす 2019 in KOKA	100人
R1. 12. 8	小津学区社会福祉協議会	ふれあいと福祉の心を育てるつどい	100人
R2. 2. 17	瀬田地域包括支援センター	瀬田市民啓発講座	40人

4 えにし滋賀の福祉人研修【再掲】

施設・事業所を対象に、福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりを進めるために、福祉用具の種類や適応、ポジショニング・シーティング、住宅改修等の専門的研修を実施した。

詳細については別紙「研修等実績報告書」のとおり

<数値目標と実績値>

■受講料収入　目標値：1,110,000円　実績値：1,337,900円

5 介護負担軽減やより良い暮らしのための相談対応(在宅・施設)

医療・福祉サービスの利用者やその家族、施設・事業所等関係機関から、福祉用具の選定や使い方、住宅改修等の相談を受け、そのアセスメントや使用環境調整、フォローアップ等を行った。

(1) 福祉用具等に関する相談対応

①福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応

・相談内容と件数（複数の相談対応）

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉用具の紹介	135件	住宅改修関係	21件
福祉用具の選定・使用方法	140件	更生医療・補装具関係	1件
福祉用具の改造	40件	その他	0件
福祉用具関係その他	49件	計	386件

②福祉用具等の改造・製作

・福祉用具の相談から改造・製作の依頼を受けた内容と件数

福祉用具の種類	改造・製作の主な内容	件数
衣類	ズボン、サポーターの改造	9件

<数値目標と実績値>

■製作期間　目標値：3週間以内　実績値：平均10日（最長16日、最短7日）

③自助具製作グループとの連携および技術指導

活動室を利用する自助具製作グループと連携を図るとともに、必要に応じ、技術指導を行った。

6 福祉用具センターの運営管理

(1) 滋賀県福祉用具センター運営委員会（福祉用具普及検討委員会）の開催

開催日	協議事項および結果
令和元年 11月22日（金）	①展示福祉用具の選定について（10点中10点採用） ②福祉用具センターの事業について ・福祉用具の普及に向けた取り組みについて ・福祉用具展示場における展示について

(2) 福祉用具等に関する情報の収集、提供、普及に関する業務

- ・福祉用具・住宅改修についての情報収集および情報提供

情報収集を目的に次の展示会・会議等に参加した。また、情報提供については展示体験会を開催するとともにホームページの有効活用を行った。

- ①高齢者・障害者の快適な生活を提案する総合福祉展〔バリアフリー2019〕（大阪市）
- ②国際福祉機器展〔HCR〕（東京都）
- ③介護ロボットメーカー連絡会議（東京都）
- ④介護ロボット地域フォーラム（大津市）
- ⑤中日本ブロック介護実習・普及センター等連絡会議（富山県）

(3) 福祉用具センターおよび福祉用具センターの業務内容の普及に関する業務

ホームページの活用等により、情報提供などを行った。

(4) 関係機関・団体等との連携

地域リハビリテーションを推進する各機関、団体等と連携し、相談体制の充実を図った。また、福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所と連携し、福祉用具の普及促進を行った。

①県立リハビリテーションセンターとの連携

- ・県立リハビリテーションセンター更生相談係と一体化を図り、福祉用具相談プラザとしてワンストップでの相談対応を図った。
- ・福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。

・県立リハビリテーションセンターが事務局となる「多職種連携学会」の運営に参画した。

②福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所との連携

- ・福祉用具展示品の寄託・寄贈を得た。
- ・福祉用具セミナー・展示体験会への展示、当日スタッフ等の協力を得た。
- ・日本福祉用具供給協会滋賀ブロックと福祉用具セミナー・展示体験会、リフトリーダー養成研修を共催で開催した。

③医療・福祉に関わる職能団体、患者会等の各団体との連携

- ・滋賀県介護支援専門員連絡協議会と福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。

【運営適正化委員会】

1 運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

(1) 選考委員会の開催

①第10期運営適正化委員会委員の補充選任

運営適正化委員会委員の退任にともない選考委員において委員候補者を審査し、委員の補充をおこなった。

期 日 令和元年6月3日（月）※文書審査

内 容 委員辞任による委員候補者の審査

(2) 全体委員会の開催

開催日 令和2年3月12日（木）

会 場 センター

議 事 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画 等

(3) 苦情解決合議体の活動

福祉サービスに関する利用者等からの苦情解決を図るため、苦情解決合議体を次のとおり開催した。

①合議体の開催（7回開催）

	期 日	内 容
1	令和元年 5月 8日（水）	苦情案件の検討（協議・報告案件 11件）
2	6月 24日（月）	苦情案件の検討（協議・報告案件 10件）
3	8月 27日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件 8件）
4	10月 25日（金）	苦情案件の検討（協議・報告案件 15件）
5	12月 5日（木）	苦情案件の検討（協議・報告案件 15件）
6	令和2年 2月 4日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件 10件）
7	3月 12日（木）	苦情案件の検討（協議・報告案件 8件）

事情調査：4件

申し入れ：3件 [文書3件]

あっせん：1件

知事通知：0件

虐待通報：0件

②福祉サービスに関する苦情相談の受付状況（月別）

苦情受付	苦情解決の結果							その他問合せ等	合計
	相談助言	紹介伝達	あつせん	通知	事情調査	申入れ	継続		
4月	1	1						14	15
5月	1	1						8	9
6月	0							6	6
7月	2	1				1		10	12
8月	1	1						10	11
9月	2	2						11	13
10月	3	3						12	15
11月	2	2						8	10
12月	4	3					1	12	16
1月	2	1					1	8	10
2月	0							10	10
3月	0							11	11
合計	18	15				1	2	120	138

2 福祉サービスの苦情解決にかかる広報啓発

利用者、社会福祉事業の経営者等に対して、福祉サービスの苦情解決の仕組みや運営適正化委員会を幅広く周知し、利用者側から苦情等を相談しやすい環境づくりを進めるために、広報啓発をおこなった。

（1）運営適正化委員会の周知

県社協ホームページでの広報を実施するとともに、随時、リーフレット等広報資材を相談者へ提供。

（2）福祉サービスの苦情に関する啓発

巡回訪問等をとおして、随時、パンフレットやテキスト等啓発学習資材を事業者へ提供。

3 事業者段階における苦情解決の推進

（1）福祉サービス事業者巡回指導の実施

事業所における苦情解決の推進を図るため、事業所への個別巡回訪問において苦情解決体制等について確認し、必要に応じて助言等をおこなった。

また、会議等の場で説明を行い、苦情解決の取り組みが一層進められるよう周知・啓発も併せておこなった。

	期日	対象（種別）	内容等
1	令和元年 6月 5日 (水)	社会福祉法人 [障害福祉分野]	事業所での取り組みについて
2	令和元年 10月 16日 (水)	社会福祉法人 [児童福祉分野]	事業所での取り組みについて
3	令和元年 10月 25日 (金)	守山市社協	第三者委員会 オブザーバー参加
4	令和元年 12月 4日 (水)	社会福祉法人 [児童福祉分野]	事業所での取り組みについて

4 地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

(1) 運営監視合議体の活動

福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営の確保を図るため、運営監視合議体および現地調査を次のとおり実施した。

①合議体の開催（2回開催）

期日	内 容
令和元年 9月 13日 (金)	・現地調査（上半期）の報告と助言事項の検討 ・現地調査（下半期）の実施について
令和2年 2月 26日 (水)	・現地調査（下半期）の報告と助言事項について ・令和2年度現地調査について

② 申し入れ： 1件 [文書1件]

③ 定期現地調査の実施状況（10社協実施）

	期日	調査実施社協名
1	令和元年 7月 24日 (水)	米原市社会福祉協議会
2	7月 30日 (火)	彦根市社会福祉協議会
3	7月 31日 (水)	野洲市社会福祉協議会
4	8月 2日 (金)	甲良町社会福祉協議会
5	8月 7日 (水)	長浜市社会福祉協議会
6	12月 3日 (火)	豊郷町社会福祉協議会
7	12月 18日 (水)	湖南市社会福祉協議会
8	令和2年 1月 8日 (水)	草津市社会福祉協議会
9	1月 16日 (木)	東近江市社会福祉協議会
10	1月 17日 (金)	竜王町社会福祉協議会